

ユーザー マニュアル



FANTIC

FANTIC の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お買い上げいただいた車両の運転前に、このマニュアルをお読みください。本書には、車両メンテナンスや使用に関する情報、アドバイス、警告が記載されています。また、使用上のガイドもシンプルかつ明瞭に記載されています。このマニュアルを活用していただくことにより、お客様は新しい愛車により親しむことができ、末永く快適なバイクライフを楽しんでいただけるものと確信しています。

ご挨拶	1
はじめに	7
製造元、輸入代理店	7
シンボルマークマークについて	9
一般警告事項	11
車両のお手入れ	11
一酸化炭素の危険性	11
燃料	11
高温になる車両パーツ類	11
エンジンオイルおよびギアボックスオイル	12
ブレーキフリード	12
バッテリーから発生する電解液と水素ガス	13
サイドスタンド	13
注意事項と警告事項	13
基本的な安全上のルール	
運転と走行	15
服装	24
盗難防止のヒント	24
駐車	24
輸送	24
サイレンサー	25

車両取り扱いに関する基本事項	27
車両ID	27
メインコントロール (Scramblerバージョン)	29
メインコントロール (Flat Track バージョン)	31
パネルコマンド	33
ダッシュボード	34
イグニッションスイッチ	50
ステアリングロック	51
ホーンボタン	51
ウインカースイッチ	52
ライトスイッチ	52
ハイビームフラッシュボタン	53
スタートスイッチ	53
エンジンストップボタン	54
チョークレバー	54
ABSシステム	55
シートオープン	57
給油	58
車両の長期保管	59
洗車	60
メンテナンス	63

目次

はじめに.....	63
予備点検.....	63
エンジンオイル.....	65
タイヤ.....	68
スパークプラグ.....	70
エアフィルター.....	70
クーラント.....	70
ブレーキシステム.....	71
サスペンション.....	73
クラッチレバーとギアボックス.....	75
チェーン.....	76
バッテリー.....	78
ヒューズとリレー.....	79
ライトとウinker.....	80
リアビューミラー.....	81
キャブレター.....	82
メンテナンス チェック表.....	85
メンテナンス チェック表.....	85
推奨製品.....	90
テクニカルデータ.....	93

はじめに

◆このマニュアルは、車両の構成要素として不可欠なもので、車両を売却する際には必ず車両と共に引き渡す必要があります。

◆Fantic Motor社は、記載されているモデル、仕様、および設計データを予告なしにいつでも変更、さらに変更する権利も有します。

◆本書および本書の一部はFantic Motor社の承認なしに省略および翻訳することはできません。

◆弊社の許可なしにこのマニュアルの内容を複製することを禁じます。Fantic Motor社は、本書の印刷ミスや落丁について一切責任を負いません。

Fantic Motor社

Fantic Motor
Via Tarantelli, 7
31030 – Dosson di Casier (TV)
Italy Tel. +39 0422 634192
Fax +39 0422 1830124
E-mail: info@fanticmotor.it www.fanticmotor.it

輸入総代理店

モータリスト合同会社
東京都大田区仲六郷2-41-8
電話 03 3731 2388 FAX 03 3731 2389

シンボルマークマーク

本書に記載されているシンボルマークマークの箇所は非常に重要で、特に注意を払う必要がある内容に関して使用されています。エンジンを始動する前にこのマニュアルをよく読み、お客様自身や他の人々の安全を確保するためにも、車両に関する知識や車両の状態、そして安全運転に関する知識が必要です。そのため、お客様自身が車両に精通し、あらゆる状況で熟練した技術で安全に操作できるようにすることを推奨します。

本書では警告事項を示す際に以下のシンボルマークマークが使用されています。

 車両およびライダーにとって重要な安全上の規制。

 車両の使用や特性に関する情報。

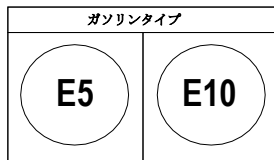
車両のケア

Fantic Motor社の車両は、適切な車両ケア用品の使用を推奨します。アルコール成分、塗料などの希釈剤、ガソリンなどを含む製品を使用すると、車両の部品が破損したりダメージを受けることがあります。定期的なケアを行うことにより、車両の美観および機能を長期間保つことができます。

一酸化炭素

⚠ 排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは人体に有毒であり、死亡する原因となる可能性があります。特定の作業をする場合は、必ず屋外か、十分な換気ができる部屋で行ってください。密閉した空間では作業しないでください。密閉された空間で作業する場合は、排気ガスを外部に排出するシステムがある場所で行ってください。

燃料



⚠ 使用されているガソリンは非常に可燃性が高く、状況によっては爆発・炎上いたします。給油やメンテナンス作業は、必ず換気の行き届いた場所でエンジンを切った状態で行ってください。給油時や蒸発ガスが溜まっていると考えられる付近では喫煙しないでください。裸火、火花その他の火気や爆発源との接触を避けてください。

⚠ 環境中に拡散しないようにし、子供を近づけないでください。

高温になるパーツについて

エンジンおよび特定のパーツは非常に高温となり、エンジンを切った後もしばらく高温のままです。エンジンやエキゾーストシステム付近の作業を行う場合には、保護手袋を着用するか、温度が下がるのを待ってください。

一般警告事項

使用済のエンジンオイルおよびギアボックスオイル

使用済みのエンジンオイルおよびギアボックスオイルを飲み込んだり気体を吸い込むと有害です。また、刺激性があり肌に触れると深刻な症状を引き起こす可能性があります。

環境中へ放出および拡散させることは禁じられています。

-  飲み込んだ場合は、嘔吐させずに速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。
-  皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と水で患部を洗い流し、患部に残留物がなくなるまで繰り返してください。
-  目や耳に入った場合、直ちに十分な量の水で洗い流し、速やかに緊急医療センターを受診し、原因と事故の発生状況を伝えてください。

-  衣類に付着した場合は、脱いで石鹸と水で完全に洗い流してください。洗う必要のある汚れた衣類はできるだけ速やかに着替えてください。

-  メンテナンス作業の際は、必ず手を保護する適切な手袋を着用してください。

-  子供が近付かないようにしてください。

-  使用済のエンジンオイルおよびギアボックスオイルは密閉できる容器に回収し、お近くのサービスステーションまたは廃棄処分の認可を得たスタッフのいる廃油回収センターへ持ち込んでください。

ブレーキフリード

-  ブレーキフリードが付着すると、塗装面、プラスチックあるいはラバー製の表面がダメージを受ける場合があります。ブレーキフリードに関する作業を行う際は、清潔な布でパーツを保護してください。
-  常に保護メガネを着用し、もし目に入った場合は直ちに大量の流水で洗い、すぐに医師に相談してください。子供が近付かないようにしてください。

バッテリーからの電解液と水素ガス

 バッテリーの電解液は有毒で腐食性があります。硫酸を含んでいるため、皮膚に付着すると火傷を負うおそれがあります。手袋と保護衣を着用してください。

 電解液が皮膚に付着した場合、流水で完全に洗い流してください。

 バッテリー液が目に入ると失明のおそれがありますので、必ず目を保護してください。もし目に入った場合は、水で15分間完全に洗い流し、速やかに眼科専門医に相談してください。

 バッテリーは爆発性のガスを放出します。炎、火花、その他の熱源を近づけないでください。バッテリーの保守作業や充電の際は適切な換気措置を講じてください。

 子供が近付かないようにしてください。

 バッテリー液は腐食性です。特にプラスチックの部品には、バッテリー液がかからないようにしてください。

 定期的に廃棄してください。

サイドスタンド

 発進する前に必ずサイドスタンドが完全に上がっていることを確認してください。サイドスタンドにライダーやパッセンジャー（同乗者）の荷重をかけないでください。

注意事項と一般警告事項

 マニュアルで指示されない限り、どの機械的部品も電氣的部品も分解しないでください。

安全に走行するために

人や物へのダメージを避け、より安全に車両で走行するためのヒントを記載します。

車両の使用

車両を使用する際は、全ての法令を順守する必要があります。

危険な操作を避けるため、常に両手でハンドルバーを握り、両足をステップに置いてください。運転中は細心の注意を払ってください。

 飲酒時や服薬の影響を受けている時、特定の医薬品を摂取した後、あるいは肉体的に疲労している時や睡眠不足の際は運転しないでください。この状態は非常に危険であり、運転を行うと人や物に深刻な危害を与えるおそれがあります。

運転の際は路面の状態、視界、天候をよく観察し常に安全に考慮してください。安全に運転するのが難しい状況では、速度を落とし、慎重に運転してください。

濡れた路面での最初**のブレーキの効きは弱い**です。このような条件下では頻回にブレーキをかけることをお勧めします。

 ブレーキにはABSシステムが搭載されていますが、濡れた路面や未舗装路、滑りやすい地面では十分に注意してください。

砂や泥のある路面や除雪剤がまかれた道路を走行すると、ブレーキパッド内部に泥や砂などが入り込み摩耗しやすくなります。これを防ぐため、ブレーキディスク、キャリパーを点検し、必要に応じて洗浄することをお勧めします。

 車両に元から付いている機能や性能を改造したり変更しないでください。それら車両の不正な改造や変更は、走行に危険を及ぼす違反車両とみなされ法律で禁止されています。車両の改造や変更を行うと、保証が取り消されるだけでなく、罰金の対象となる場合があります。

 車両の装備に関しては、お住まいの国や地域の法規制に従ってください。

基本的な安全上のルール

車両への乗り降りでは、身体の動きを妨げるものが周囲に無い状況で行ってください。
乗り降りではサイドスタンドを下げた状態で常に車両の左側から行き、バランスを崩して転倒しないよう注意してください。

 **ライダーは常に同乗者より先に乗車、後に降車し、同乗者が乗降中の車両の安定はライダーが確保してください。**

乗車

同乗者が乗車する際は、車両がバランスを崩さないよう細心の注意を払ってください。ライダーは両足を地面に着け、走行する時と同じように両手でハンドルをしっかりと握り、両足で車両をホールドしてください。

- ① サイドスタンドは車両単体の重量を支える設計です。ライダーや同乗者の荷重を支えるようには設計されていません。
- ① 乗車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。

同乗者のフットレストを引き出し、同乗者が乗車し終わるまで待ちます。

- ① ライダーは同乗者に乗車の仕方を教えてあげてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように乗車します。
- ① 同乗者は左側のフットレストを使い、常に車両の左側から乗車します。

ライダーは左足でサイドスタンドをはらって収納します。

降車

平坦で障害物の無い、駐停車に適した場所に車両を止めます。左足でサイドスタンドを完全に引き出します。

- ① 降車時に両足を地面に着けられない場合や、不安定になった時やバランスが崩れた場合、車両の左側はサイドスタンドがあるため、右足を地面に着くようにしてください。

走行する時と同じように両手でハンドルをしっかりと握り、両足で車両をホールドして、同乗者が降車するのを待ちます。

- ① 同乗者は左側のフットレストを使い常に車両の左側から降車します。

- ① ライダーは同乗者に降車の仕方を教えてあげてください。同乗者は細心の注意を払い、車両がバランスを崩さないように降車します。

⚠ 同乗者は車両から飛び降りたり、足を地面に着こうと無理に足を伸ばして降りたりしないでください。車両のバランスが崩れ、最悪、車両が倒れる可能性があります。

車両を傾けるとサイドスタンドが地面に接地します。ライダーの降車後、ハンドルバーを左へ完全に回して下さい。

⚠ 車両が静止し安定していることを確認します。

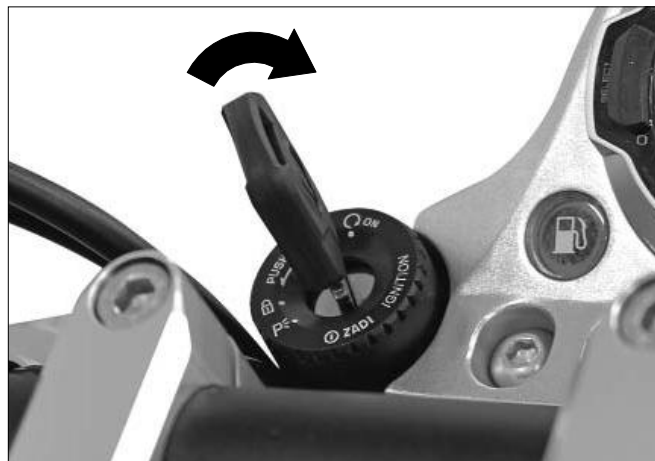
⚠ 車両の損傷を防ぐため、ライセンスプレートホルダーフレームを持って車両を持ちあげないでください。

基本的な安全上のルール

始動

キーを時計方向に回してステアリングロックを解除し、サイドスタンドが完全に上がっていることを確認して、正しい姿勢で乗車します。

⚠ サイドスタンドが出ている場合、車両はギアがニュートラルの状態でのみ始動します。この状態でギアを入れようとすると、エンジンが停止します。



フロントおよび／またはリアブレーキをかけます。
クラッチレバーを引き、ギアがニュートラルに入っていることを確認します。



基本的な安全上のルール

キーをONの位置まで回し、メーターの起動動作から通常の標準画面が表示されるまで数秒間待ちます。

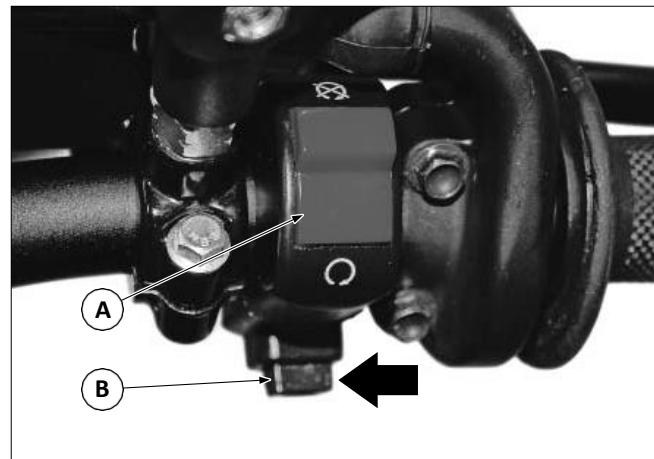


JP

エンジンストップボタンAを押し、次にスタートスイッチBを1回押します。

 エンジンを適切に温めるため、最初の数kmは低速で運転することを推奨します。エンジンが温まる前に急激に発進しないでください。

 燃料警告灯が点灯したら、できるだけ早く給油してください。



基本的な安全上のルール

冷間始動

クラッチレバーの上に、コールドスターターのチョークレバーがあります。

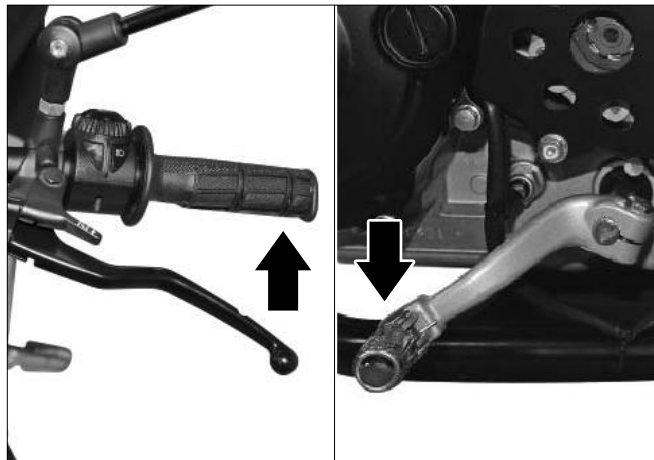
起動させるには、レバーを手前に引きます。エンジンを始動させレバーを引いた状態でエンジンが作動温度に達するまで待ち、その後レバーを元に戻します。

⚠ (エンジン始動時の)コールドスターターの長時間の介入はエンジン操作と性能を損なう可能性があります。



始動

車両を始動させエンジンが適温になったら、クラッチレバーを操作してギアを1速に入れます。メーター内のニュートラル表示灯が消えます。



基本的な安全上のルール

クラッチをゆっくりと解除し、徐々に加速して車両を前進させます。



JP

ギアボックスの使用

ギアチェンジを行うには、クラッチレバーを操作してスロットルノブを緩め、シフトペダルを上げてシフトアップ、ペダルを下げたシフトダウンします。

① 運転初心者の場合、車両の操作部とその機能についてよく習熟しておくことが重要です。

⚠ ギアは1速ずつシフトしてください。一度に1速より多くシフトアップ、シフトダウンすると、エンジン回転数が上がり、規定の回転数を超える可能性があります。



基本的な安全上のルール

エンジン停止

車両およびエンジンを停止させるには、車両が停止するまでフロントおよび／またはリアブレーキをかけます。シフトレバーをニュートラルにします。

 車両の走行中にエンジンストップボタンを押さないでください。車両が停止し、エンジンが損傷するおそれがあり、車両が制御不能になる可能性があります。

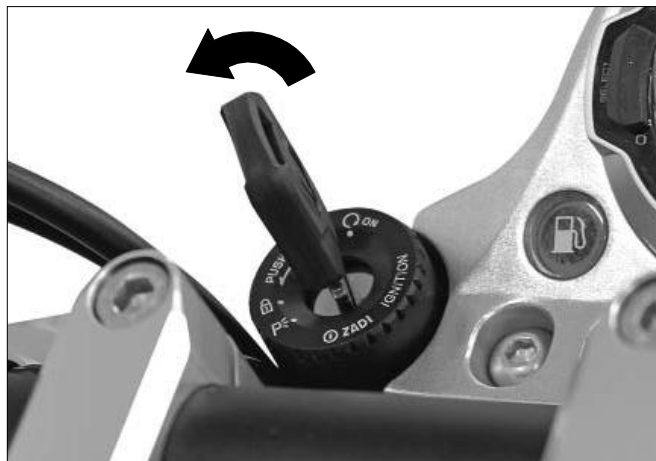


これらの操作を行ってからエンジンストップボタンを押し、キーを反時計方向に回してOFFの位置にします。

 キーをOFFの位置に回し忘れると、バッテリーの充電レベルが低下し、バッテリー交換が必要になります。

 車両の停止時は、クラッチを急に切らないでください。エンジンが停止したり、突然後輪走行(ウィリー)するおそれがあります。

 急停止や突然の減速をさけてください。



慣らし運転のルール

車両を使用する最初の数回は、各部パーツの動きを馴染ませる慣らし運転期間を設けることが不可欠です。車両が持つ本来の性能を発揮するためにも、慣らし運転期間中は一定のルールに従う必要があります。

① 車両のベストパフォーマンスは、慣らし運転後の初回点検を完了して初めて発揮することができます。

以下のヒントは、ユーザーが適切な慣らし運転を行う際の指標となります。

エンジンおよび車両パーツに適切な負荷をかけることが重要です。その一方、負荷をかけ過ぎたり不足したりしないようにしてください。負荷のかけ過ぎ、不足、そのどちらの場合も車両のパフォーマンスに影響を及ぼします。急激な加速はせず、徐々に速度を上げてください。

① フル加速は可能ですが、フルスピードで長距離走行を行わないでください。

山道を走行する際は、エンジン、ブレーキ、サスペンションに負荷が掛かり過ぎないように注意してください。エンジン、ブレーキ、サスペンションに負荷がかかる時と負荷が少ないあるいは無負荷の時を周期的に繰り返すような、カーブや勾配の緩やかな道路が適しています。

新車購入時の新品のブレーキパッドは、ブレーキディスクとの摩擦が少なく本来の制動性能を発揮できません。慣らし運転を行い、ブレーキング時にブレーキパッドがディスクをしっかりと食いつくようにする必要があります。慣らし運転には、都市部の道路をおよそ200km走行する必要があります。

ブレーキの慣らし期間は、制動距離が長いことを考慮に入れ、ブレーキレバーをより強く握ることを意識してください。

① 急ブレーキや長時間のブレーキは避けてください。

最初の1000kmの間に必要なメンテナンス作業を確認してください。

⚠ 走行距離がおおよそ1000kmに達したら、Fantic Motor 正規取り扱い店の「メンテナンステーブル」に記載されている項目を確認してください。確認およびこれらの作業を実行することで、車両の損傷や人的事故を防止します。

⚠ これらのルールに従わなかった場合、エンジンや車両パーツに関して、その後に本来の性能を発揮できない可能性があります。

基本的な安全上のルール

服装

必ずヘルメットは着用してください。そのヘルメットも、車両が走行する国の認可を受けたもので、損傷が無く、バイザーに傷や汚れが無いものを着用してください。走行に適切な保護性能のあるウェアを着用し、走行時に邪魔になる可能性のあるアクセサリーや、転倒時に危険となる可能性がある尖った物は身に着けないでください。

i これら全ての事柄は、同乗者にも適用されます。

盗難防止のヒント

イグニッションキーをオンにしたまま車両を離れないでください。駐車時は常にステアリングロックを使用してください。車両は、ガレージなど安全な場所に駐車してください。

駐車

駐車する場所は慎重に選んでください。道路標識や下記に説明する内容を順守することは非常に重要です。

! 車両を壁に立てかけたり、地面に横倒しにして駐車しないでください。駐車場所は安定していて水平であることを確認してください。

! 高温になる可能性のある部品（サイレンサー、エンジン、ラジエーター、ブレーキディスク等）が周囲の人々に危険を及ぼさないことを確認してください。

! エンジンがかかった状態や、キーを挿した状態では決して車両から離れないでください。

輸送

車両を輸送する場合、フューエルタンクとキャブレターは燃料を完全に空にする必要があります。予期せぬ燃料漏れを防ぎ、それらパーツが完全に乾燥していることを確認してください。正常な作動状態でギアは1速に入れ、車両をしっかりと固定する必要があります。

! 故障時には牽引や安全性に問題のある処置を行わないでください。人および／または器物を危険にさらす可能性があります。事故を引き起こしたり、車両の損傷につながるおそれがあります。

サイレンサー

このパーツは、排気ガスの一酸化炭素を酸化して二酸化炭素に変換し、不燃の炭化水素を水蒸気に変換し、窒素酸化物を酸素と窒素に変換して窒素酸化物を削減する機能を担っています。

- ① 車両の使用、エキゾーストシステムの触媒エレメントに対応する部分は鮮やかな赤色を帯びる場合があります。この色の変化は正常であり、触媒の正しい動作を示します。

⚠ 乾燥した茂木がある場所の近くでは、車両を停止したり駐車したりしないでください。

⚠ 子供および／または人々が近づく可能性のある場所は避けてください。

⚠ サイレンサーは高温になるため、接触を避け、完全に温度が下がるまでは最大の注意を払ってください。

⚠ エキゾーストシステムを改造、変更、改ざんすることは禁じられています。

⚠ 有鉛ガソリンは触媒にダメージを与えるため、使用しないでください。

エキゾーストシステムに穴や錆または損耗の兆候が無いか確認してください。エキゾーストシステムが常に正しく作動することを確認してください。

ノイズが大きくなったり異音が発生した場合は、できるだけ早くFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

⚠ メンテナンス、修理、交換作業の際はFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

車両ID

車台番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

JP

エンジン番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Fantic Motor の車両には、車台番号とエンジン番号が付与されています。車台番号が消えたり損傷した時のために、上欄に番号を記録しておくことをお勧めします。

 IDデータを変更しないでください。重大な罰則や行政処分を受けることがあります。さらに、車台番号が変更されてすぐに判別できないと、新車の保証が無効になる場合があります。

車両取り扱いの基本事項

車台番号

車台番号は右側のステアリングチューブに刻印されています。

- ① 純正の交換部品を求める際は、この車台番号を販売店にお知らせください。

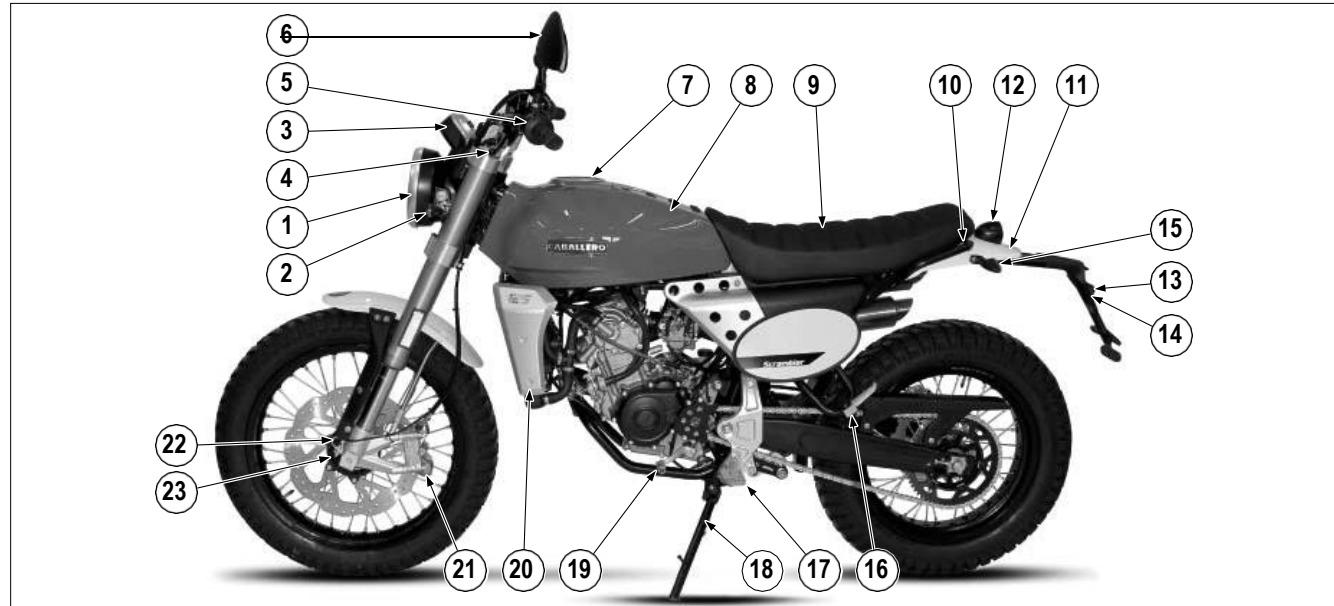


エンジン番号

エンジン番号はクランクケースの左側に刻印されています。



メインコントロール (Scramblerバージョン)



JP

- | | | |
|---------------|---------------------|------------------|
| 1. ヘッドライト | 10. リアハンドル | 19. ギアシフトペダル |
| 2. 左フロントウィンカー | 11. リアフェンダー | 20. 左ラジエーターカバー |
| 3. ダッシュボード | 12. テールライト | 21. フロントブレーキキャリア |
| 4. クラッチレバー | 13. ライセンス プレート ホルダー | 22. フロントスピードセンサー |
| 5. 左ハンドルスイッチ | 14. ライセンス プレート ライト | 23. ホイール |
| 6. 左リアビューミラー | 15. 左リアウィンカー | |
| 7. タンク キャップ | 16. 左パッセンジャーフットレスト | |
| 8. フューエルタンク | 17. 左ライダーフットレスト | |
| 9. シート | 18. サイドスタンド | |

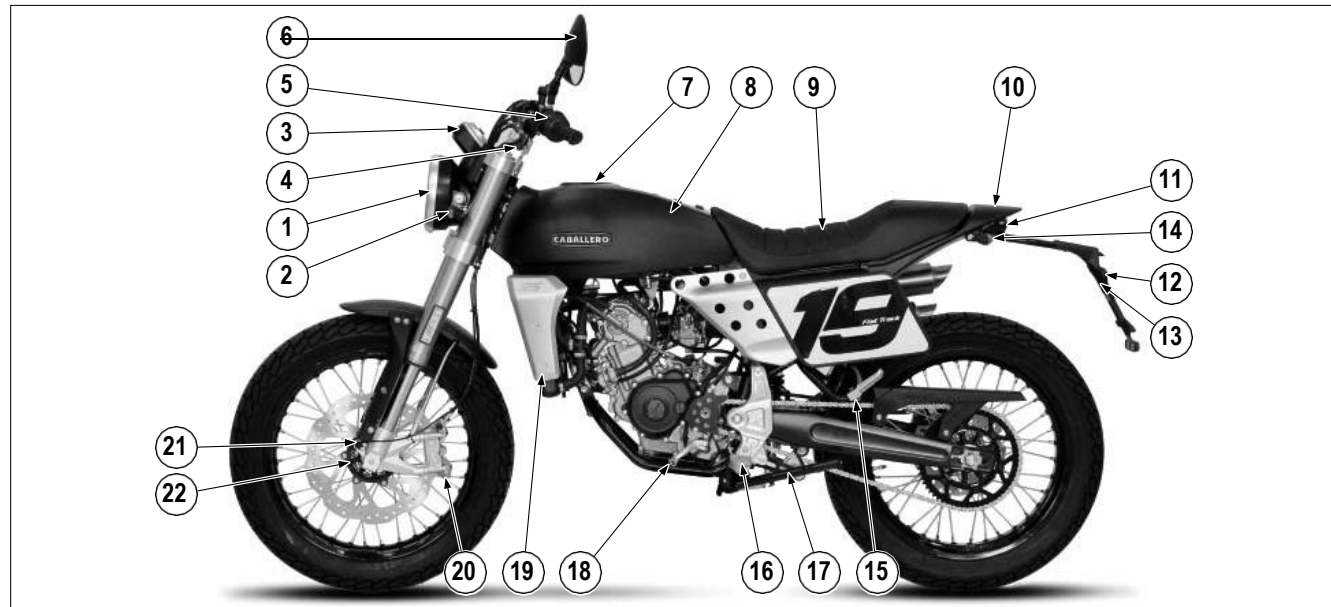
車両取り扱いの基本事項



- 24. 右リアビューミラー
- 25. 右ハンドルスイッチ
- 26. スロットルノブ
- 27. フロントブレーキマスターシリンダー
- 28. フロントブレーキレバー
- 29. 右フロントウインカー
- 30. エンジンオイルキャップ／ディップスティック
- 31. リアブレーキペダル
- 32. リアブレーキオイルタンク

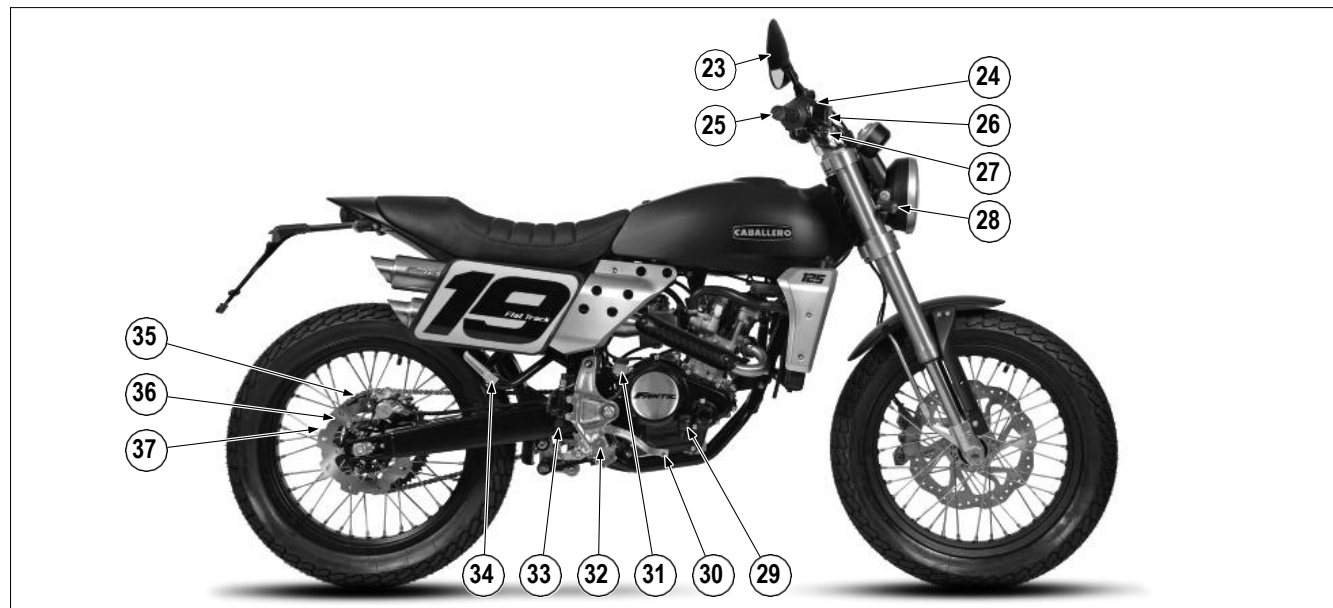
- 33. 右ライダーフットレスト
- 34. リアブレーキマスターシリンダー
- 35. 右パッセンジャーフットレスト
- 36. リアブレーキキャリア
- 37. リアスピードセンサー
- 38. ホイール

メインコントロール (Flat Track バージョン)



- | | | |
|---------------|---------------------|-------------------|
| 1. ヘッドライト | シートリアフェンダー | 17. 左ラジエーターカバー |
| 2. 左フロントウィンカー | 9. テールライト | 18. フロントブレーキキャリパー |
| 3. ダッシュボード | 10. ライセンス プレート ホルダー | 19. フロントスピードセンサー |
| 4. クラッチレバー | 11. ライセンス プレート ライト | 20. ホイール |
| 5. 左ハンドルスイッチ | 12. 左リアウィンカー | |
| 6. 左リアビューミラー | 13. 左パッセンジャーフットレスト | |
| 7. タンク キャップ | 14. 左ライダーフットレスト | |
| 8. フューエルタンク | 15. サイドスタンド | |

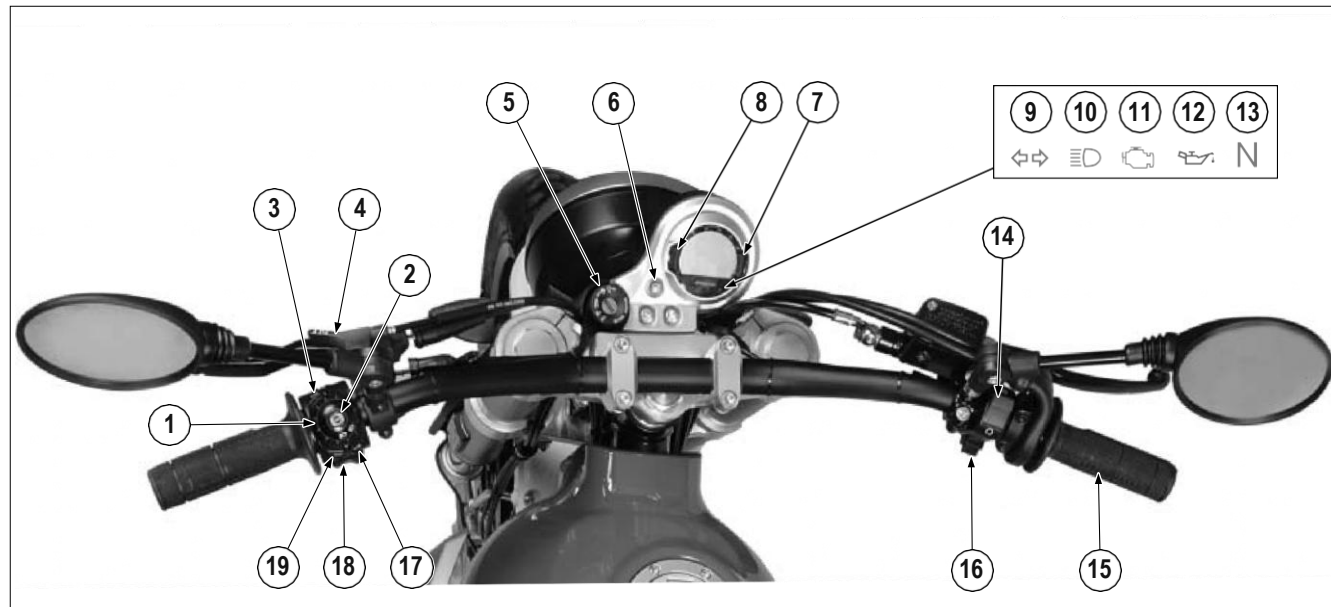
車両取り扱いの基本事項



- 21. 右リアビューミラー
- 22. 右ハンドルスイッチ
- 23. スロットルノブ
- 24. フロントブレーキマスターシリンダー
- 25. フロントブレーキレバー
- 26. 右フロントウインカー
- 27. エンジンオイルキャップ／ディップスティック
- 28. リアブレーキペダル
- 29. リアブレーキオイルタンク

- 30. 右ライダーフットレスト
- 31. リアブレーキマスターシリンダー
- 32. 右パッセンジャーフットレスト
- 33. リアブレーキキャリアー
- 34. リアスピードセンサー
- 35. ホイール

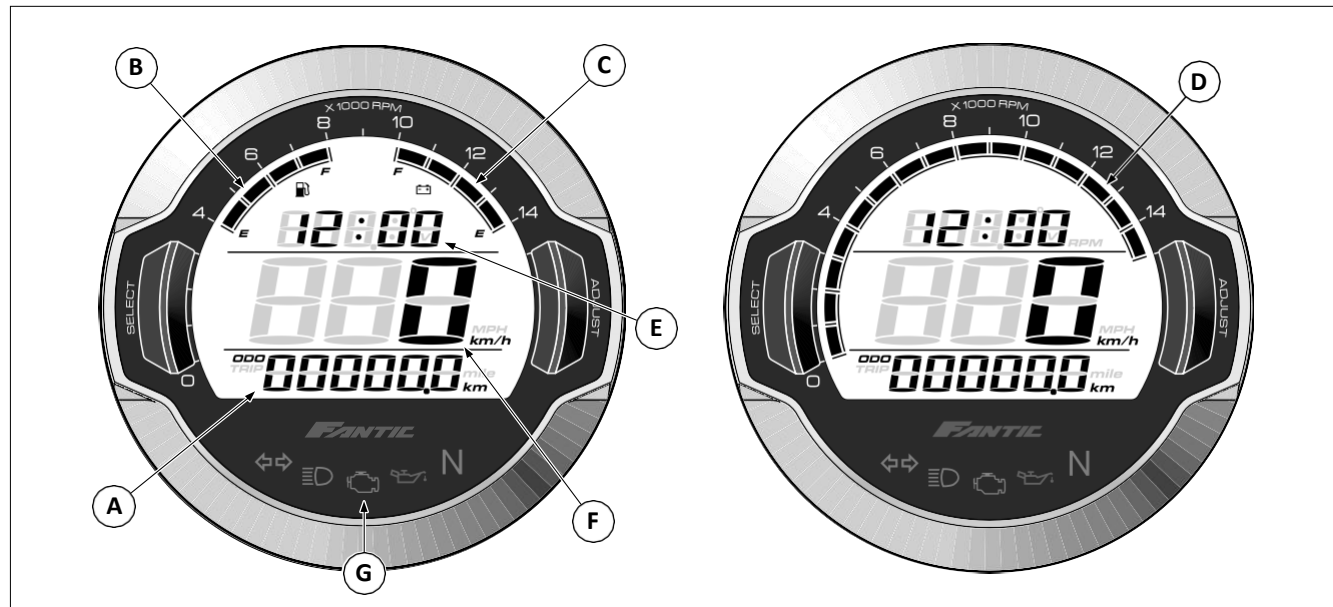
パネルコマンド



- | | | |
|--------------------|-----------------|------------|
| 1. ロー／ハイビームライトスイッチ | 10. ハイビームライト表示灯 | 19. ホーンボタン |
| 2. ABS表示灯 | 11. エンジン表示灯 | |
| 3. ハイビームフラッシュボタン | 12. エンジンオイル表示灯 | |
| 4. チョークレバー | 13. ニュートラル表示灯 | |
| 5. イグニッション スイッチ | 14. エンジンストップボタン | |
| 6. 燃料残量表示灯 | 15. スロットルノブ | |
| 7. ADJUST ボタン | 16. スタートスイッチ | |
| 8. SELECT | 17. ABS ボタン | |
| 9. ボタンウィンカー表示灯 | 18. ターニングナルスイッチ | |

車両取り扱いの基本事項

ダッシュボード



A. オドメーター

- ・ 総走行距離レコーダー
- ・ 部分走行距離レコーダー A
- ・ 部分走行距離レコーダー B
- ・ 燃料残量／走行可能距離

B. フューエルレベル

C. デジタルボルトメーター

D. タコメーター

E. 時計

F. スピードメーター

G. 表示灯

スタンバイ状態でのダッシュボードの機能

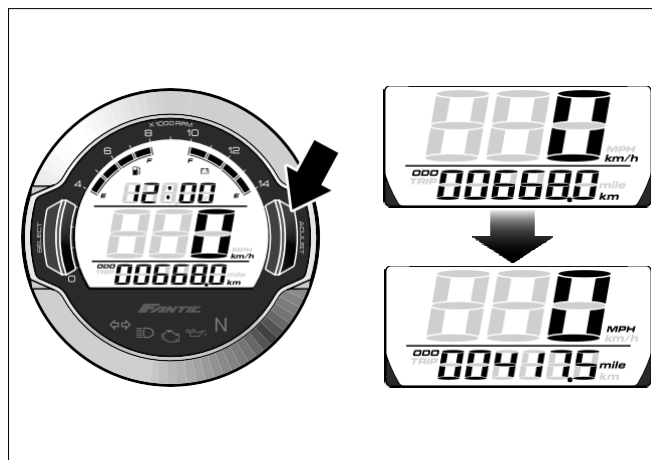
ダッシュボードがオフの時、アジャストボタン (ADJUST) を押すかセレクトボタン (SELECT) を押すと時計が起動します。時計は起動後30秒間画面に表示されます。



JP

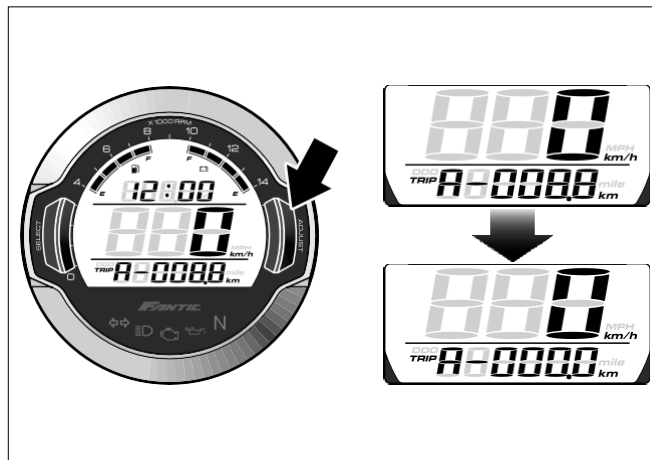
アジャスト (ADJUST) ボタン

メイン画面 (ODO) で、アジャスト (ADJUST) ボタンを1度押し部分走行距離レコーダー A を起動させます。オドメーターの単位を km と mile で切り替える場合や、スピードメーターの単位を km/h と MPH で切り替える場合は、アジャスト (ADJUST) ボタンを3秒間押し続けます。

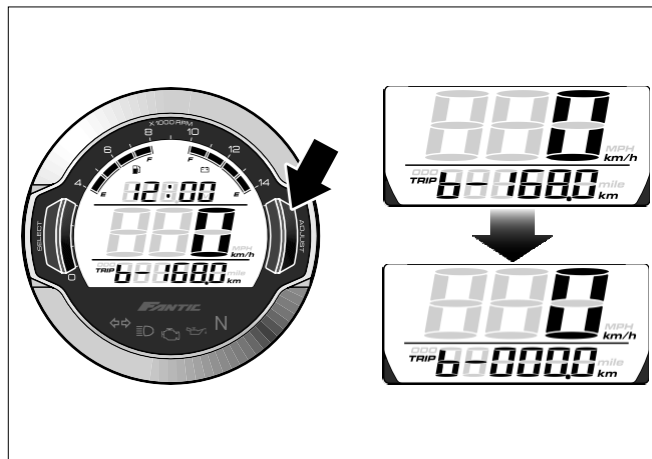


車両取り扱いの基本事項

部分走行距離カウンターA の画面でアジャスト (ADJUST) ボタンを1回押すと部分走行距離カウンターBが起動します。部分走行距離カウンターAをリセットするには、アジャスト (ADJUST) ボタンを3秒間押し続けます。



部分走行距離カウンターB の画面でアジャスト (ADJUST) ボタンを1回押すと燃料残量／走行可能距離画面が起動します。部分走行距離カウンターBをリセットするには、アジャスト (ADJUST) ボタンを3秒間押し続けます。

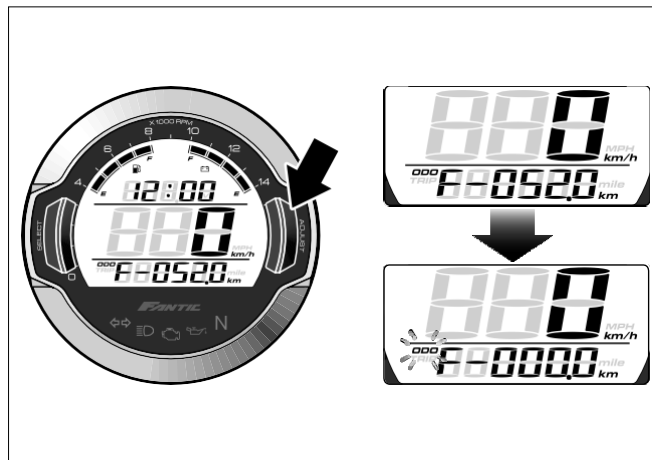


車両取り扱いの基本事項

燃料残量／走行可能距離画面でアジャスト (ADJUST) ボタンを1回押すと、メイン画面 (オドメーター機能) に戻ります。

走行可能距離学習手順

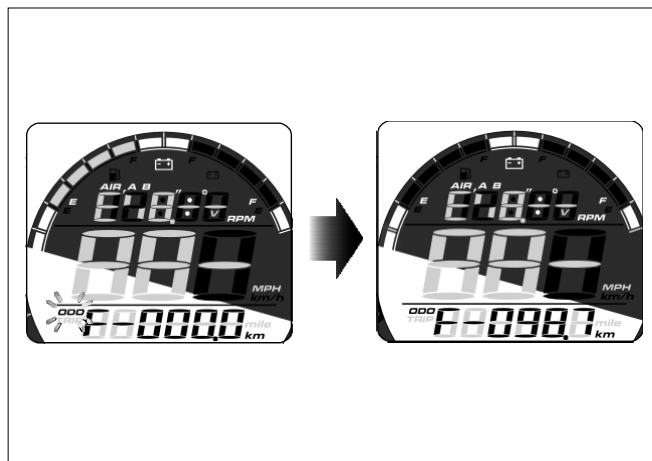
給油を行い、燃料残量／走行可能距離画面でアジャスト (ADJUST) ボタンを10秒間押し続けると、ODO のシンボルマークマークが点滅し、走行可能距離が0にリセットされて再学習が行われます。



JP

フューエルレベルが0になった場合、給油してください。この操作の最後に、ODO のシンボルマークの点滅が止まります。これは、走行可能距離の学習が完了したことを意味します。

⚠ 道路状況や車両の状態、走行スタイル等により、計算上の距離と実際の走行可能距離は異なる場合があります。
そのため、走行可能距離はライダーが参考としてのみ使用してください。

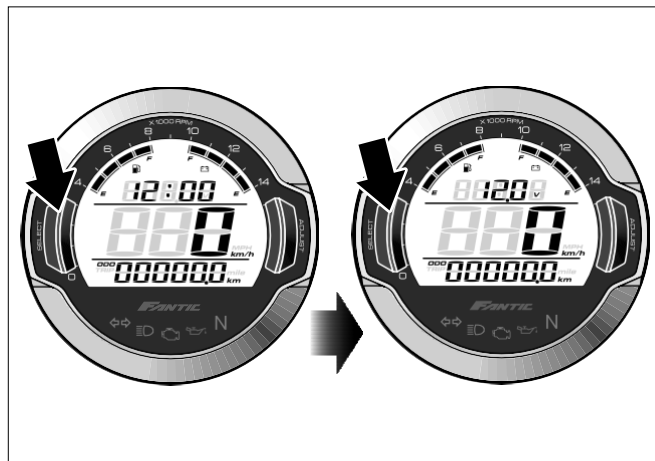


車両取り扱いの基本事項

セレクト(SELECT)ボタン

時計画面で、セレクト(SELECT)ボタンを1回押してバッテリー電圧画面を表示させます。

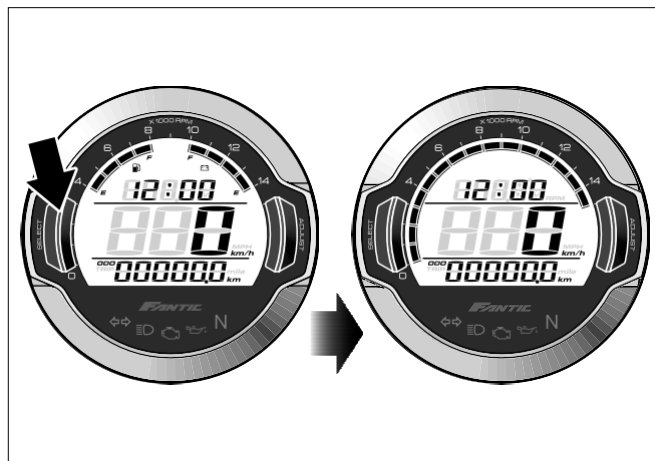
バッテリー電圧画面で、セレクト(SELECT)ボタンを1回押すと時計が起動します。



RPM (エンジン回転数)

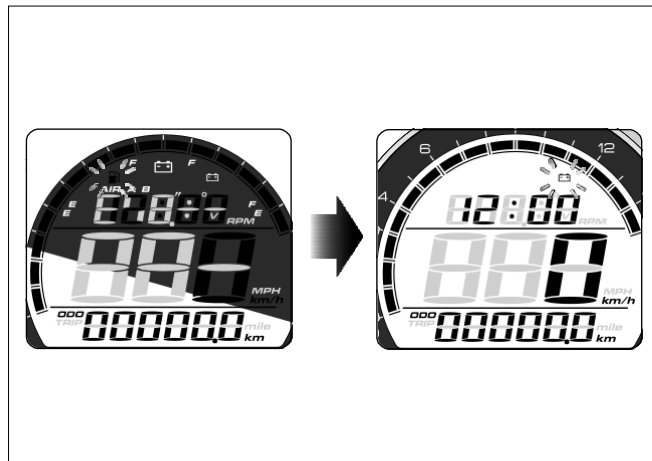
燃料残量／走行可能距離およびバッテリー電圧表示画面でセレクト(SELECT)ボタンを3秒押すと、RPM(エンジン回転数)画面が表示されます。

RPM(エンジン回転数)画面でセレクト(SELECT)ボタンを押すと燃料残量／走行可能距離およびバッテリー電圧表示画面に戻ります。



RPM画面(エンジン回転数)

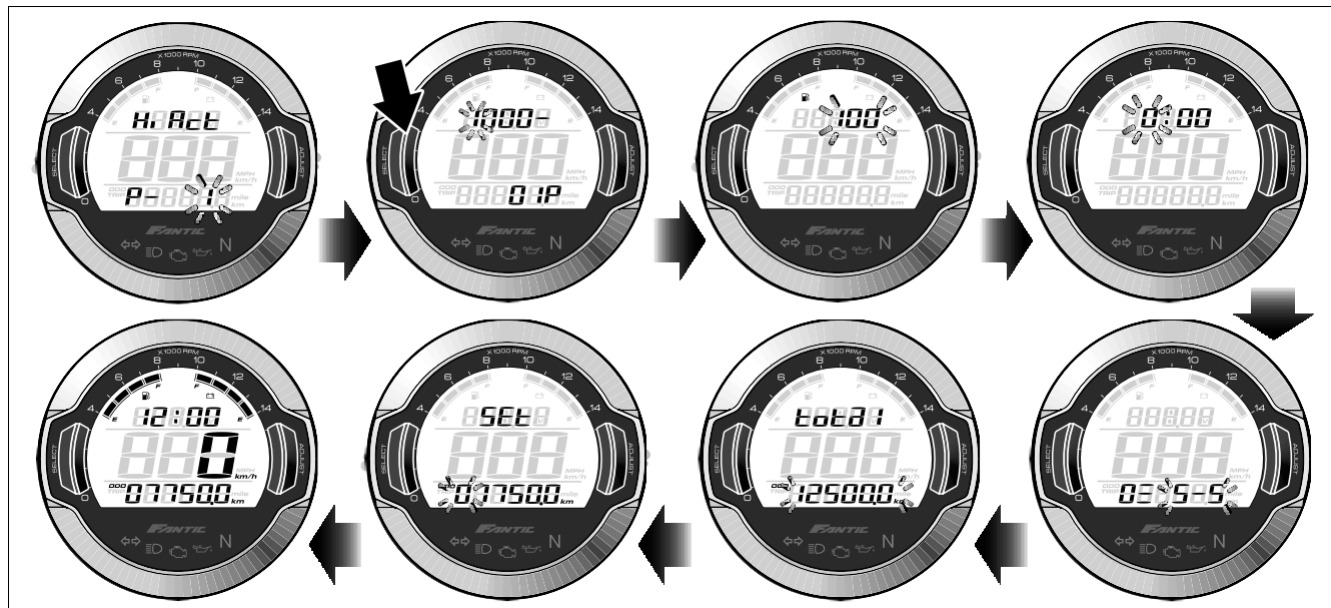
燃料残量レベルが1の時、燃料警告灯が点滅します。
バッテリー電圧レベルが1の時、バッテリー警告灯が点滅します。



JP

車両取り扱いの基本事項

画面設定



設定画面では、セレクト (SELECT) ボタンをおして各種設定にアクセスします。設定画面は以下の順で選択できます。

- 入力パルス設定 (RPM機能)
- タイヤ外周設定
- 燃料計抵抗設定
- 時計設定

- ダッシュボードバックライト設定
- 内部オドメーター画面設定
- 外部オドメーター画面設定

⚠ 30秒間何も操作が行われないと、ダッシュボードは自動的にメイン画面に戻ります。

設定画面へのアクセス

メイン画面でセレクト (SELECT) ボタンおよびアジャスト (ADJUST) ボタンを同時に3秒間押し続けて設定画面を起動させます。



入力信号設定 (RPM)

設定を変更するにはアジャスト (ADJUST) ボタンを押します。変更操作中は設定桁が点滅します。

- ① 調整レンジ: 0.5, 1 ~ 24



車両取り扱いの基本事項

目的の入力パルス値に到達するまでセレクト (SELECT) ボタンを押します。

 正確な値が分からない場合は、設定値を変更しないことを推奨します。必要があればFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

 設定値: 0.5

アジャスト (ADJUST) ボタンを押して正しい波形を選択します。

 RPM パルスは Hi (正パルス) および Lo (負パルス) で定義されます。

波形設定を識別する書き込みは、変更操作中に点滅します。

 回転数 (RPM) が不正確あるいは正しく表示されていない場合、別の設定を選択し、再度実行してください。

 正確な値が分からない場合は、設定値を変更しないことを推奨します。必要があればFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。



! RPMインジケーターがノッチを示している場合、エンジンのアイドル状態を確認してください。エンジンがわずかに回転している場合は2を示します。この場合、設定は正しく行われています。そうでない場合はもう一度やりなおしてください。

標準設定がうまくいかない場合、以下の組み合わせを試行してください。

i パルスNo. / 波形:
“1”/“Lo”, “1”/“Hi”, “2”/“Lo”, “2”/“Hi”

i 設定値: “1”/“Lo”

設定完了後、セレクト(SELECT)ボタンを長押しして次の設定項目を表示させます。

タイヤ外周補正設定

! 異なるサイズのタイヤを取り付けた場合、設定値をリセットする必要があります。

入力すべき値が表示されるまでセレクト(SELECT)ボタンを押します。入力すべき正しい補正值(パーセンテージ表示)は計算することができます。
挿入する値を定義する計算は次のとおりです。

$$A \div B \cdot 100\%$$

- A. 新しいタイヤの外周
- B. オリジナルタイヤの外周

設定値:

Scrambler バージョン = 2202 mm、

Flat Track バージョン = 2250 mm



車両取り扱いの基本事項

⚠ 設定を識別する数値は、変更操作中に点滅します。

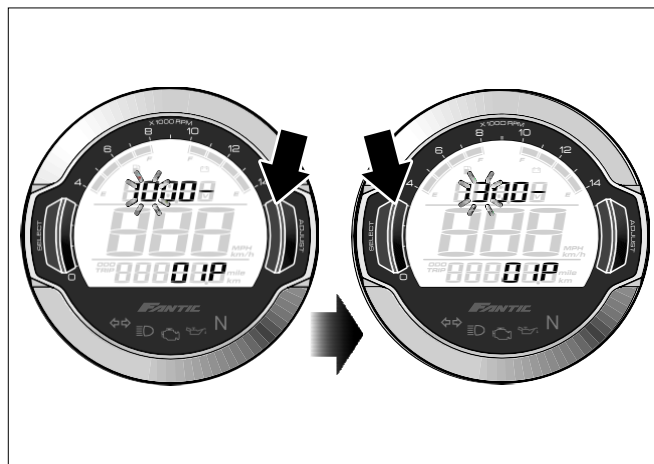
① 表示レンジ: 300~2500
測定単位: 1 mm

ヒント: メジャーでホイールの円周を測定する時、バルブの位置を開始点と終了点にすると測りやすいです。



ホイール外周の値を変更するにはアジャスト (ADJUST) ボタンを押します。

設定完了後、セレクト (SELECT) ボタンを1回押してから長押しして次の設定項目を表示させます。



設定を変更するにはアジャスト(ADJUST)ボタンを押します。

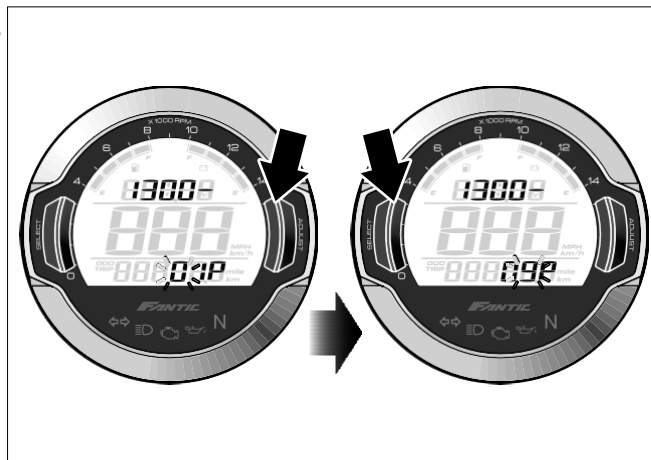
⚠ 設定を識別する数値は、変更操作中に点滅します。

① 設定レンジ: 1~20 ポイント

⚠ 標準値: 9 パルス(ポイント)

設定完了後、セレクト(SELECT)ボタンを1回押してから長押しして次の設定項目を表示させます。

⚠ 正確な値が分からない場合は、設定値を変更しないことを推奨します。必要があればFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。



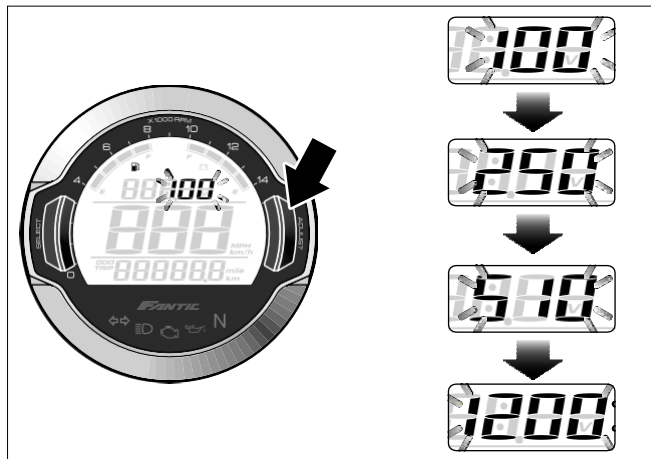
燃料計抵抗設定

アジャスト(ADJUST)ボタンを押して正しい数値を選択します。

① 選択可能な抵抗値: 100 Ω、250 Ω、510 Ω、1200 Ω

① 正しい燃料計抵抗: 100 Ω

⚠ 正確な値が分からない場合は、設定値を変更しないことを推奨します。必要があればFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。



車両取り扱いの基本事項

設定完了後、セレクト (SELECT) ボタンを1回押してから長押しして次の設定項目を表示させます。

- ① 燃料計の抵抗値が変更されると、走行可能距離が0にリセットされ、再度学習手順が開始されます。



時計設定

設定したい桁が表示されるまでセレクト (SELECT) ボタンを押します。

⚠ 変更操作中、選択中の桁が点滅し続けます。

① この時計は、24時間表示タイプです。時間の設定後に分を設定します。

アジャスト (ADJUST) ボタンを押して変更する桁を選択します。

設定完了後、セレクト (SELECT) ボタンを1回押してから長押しして次の設定項目を表示させます。



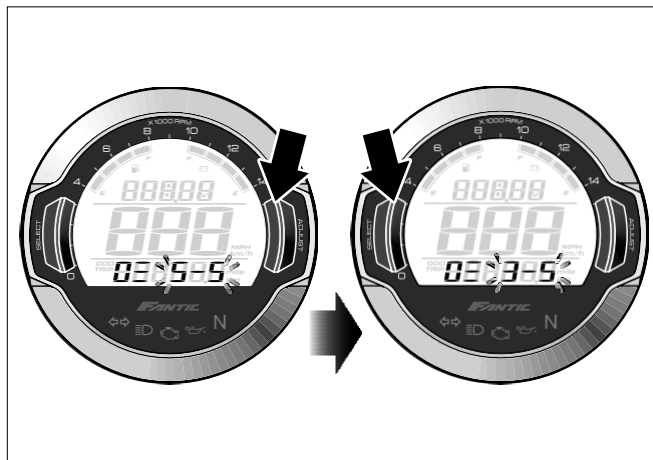
車両取り扱いの基本事項

ダッシュボードバックライト設定

希望の明るさレベルが表示されるまでアジャスト (ADJUST) ボタンを押します。

- ① 明るさのレベルは1-5 (暗い) から 5-5 (明るい) です。
ダッシュボードの明るさは値の設定後直ちに変わります。

設定完了後、セレクト (SELECT) ボタンを1回押して確認し、
長押しして次の設定項目を表示させます。



内部オドメーター画面設定

セレクト (SELECT) ボタンを1回押してから長押しして次の
設定項目を表示させます。



外部オドメーター画面設定

設定したい桁が表示されるまでセレクト(SELECT)ボタンを押します。

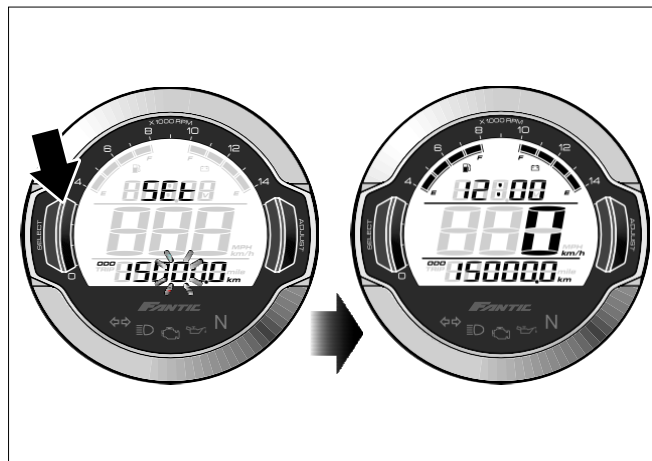
アジャスト(ADJUST)ボタンを押して変更する桁を選択します。



JP

値の設定が完了したら、セレクト(SELECT)ボタンを1回押して確認し、長押ししてメイン画面に戻ります。

カスタマイズ設定適用後のダッシュボードのメイン画面。



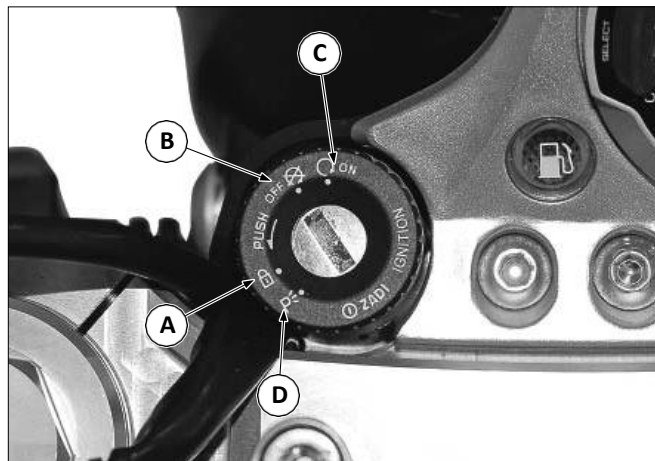
車両取り扱いの基本事項

イグニッション スイッチ

イグニッションスイッチは、車両フロント部、ダッシュボード付近にあります。

イグニッションスイッチの機能は以下のとおりです。

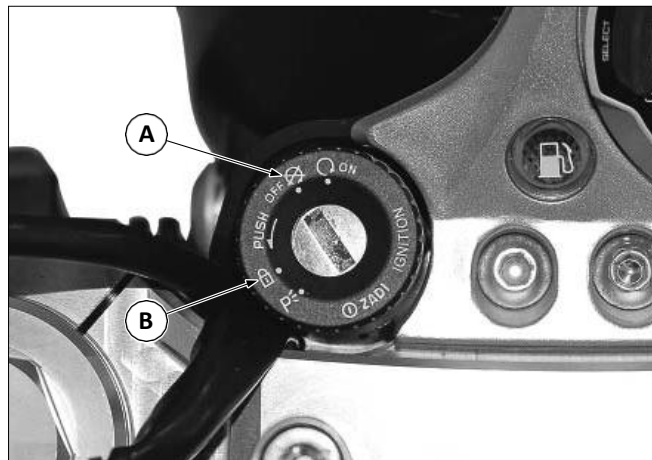
- A. ハンドルバーにロックがかかり車両は始動できず、ライト類は点灯できません。キーを抜くことができます。
- B. 車両およびライト類は操作できず、キーは抜くことができます。
- C. 車両は操作できる状態で、キーは抜くことができません。
- D. ハンドルバーにロックがかかり、車両は始動することができません。ヘッドライトとテールライトのポジションライトが起動しています。キーを抜くことができます。



- ① 車両にはキーが2本付属しています。1つはスペアキーです。スペアキーは車両とは別の場所に保管してください。
- ① イグニッションスイッチがB位置の時、ライト類は消灯します。
- ① キーは、イグニッションスイッチの他にもタンクキャップの開閉に使用します。
- ① 車両が始動すると、ライト類は自動的に点灯します。

ステアリングロック

ステアリングロックをかけるには、ハンドルバーを左側へ完全に回転させ、キーをA位置に回します。
キーを反時計方向に押し回し、キーがB位置にくるまでハンドルバーをゆっくり回します。



JP

ホーンボタン

押してホーンを鳴らします。



車両取り扱いの基本事項

ウィンカースイッチ

スイッチを左右に押して方向を示します。ボタンを押して中央位置に戻すとウィンカーが停止します。



ライトスイッチ

ライトスイッチを反時計方向に回すとハイビームが起動します。
ロービームに戻すには、ライトスイッチを時計方向に回します。



ハイビームフラッシュボタン

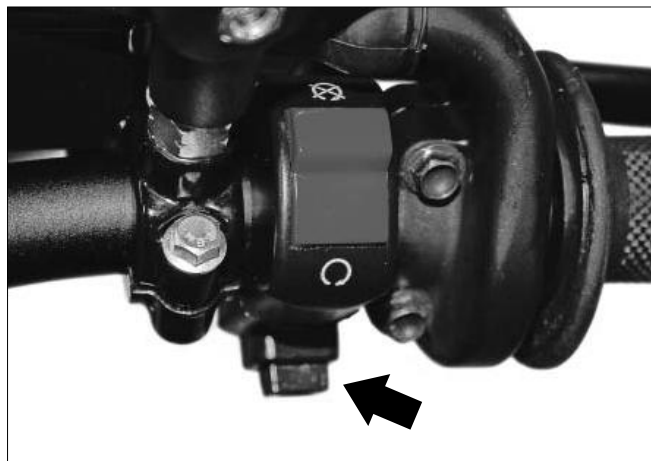
このボタンを押すとハイビームが点滅します。
危険を知らせたり緊急の状況で使用します。ボタンを放すとハイビームの点滅は停止します。



JP

スタートスイッチ

キーを挿入してON位置にし、エンジnstoppボタンを無効にしてボタンを押すと、エンジンが始動します。



車両取り扱いの基本事項

エンジントップボタン

このボタンを押すとエンジンが停止します。
安全機能および緊急スイッチの機能を果たします。

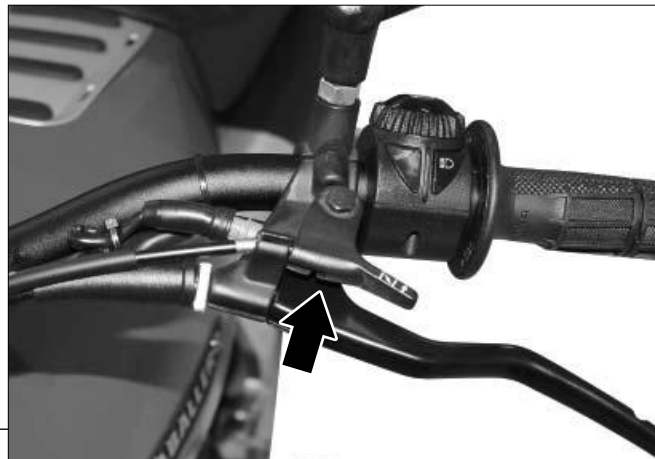
⚠ 車両走行時にこのボタンを押さないでください。エンジンが停止します。車両がコントロールを失い、事故の危険性が高まり、器物や人を危険にさらすおそれがあります。



チョークレバー

チョークレバーは、冷間始動時に使用され、キャブレター内の混合気の空燃比を通常よりも高める機能を担っています。操作するとエンジン回転数が上昇します。エンジンが作動温度に到達したら、停止します。

⚠ エンジン始動時にチョークレバーを長時間介入させすぎると、エンジン性能を損なう場合があります。



ABSシステム

車両には、両輪で作動するABSシステムが搭載されています。ABSシステムは、ブレーキ作動時にブレーキシステム内の圧力を制限する電動油圧装置で構成されています。これは、フォークに搭載されているアンギュラスピードセンサーBが、(ブレーキディスクの)ホイールAのブロック傾向を検出することによって作動します。

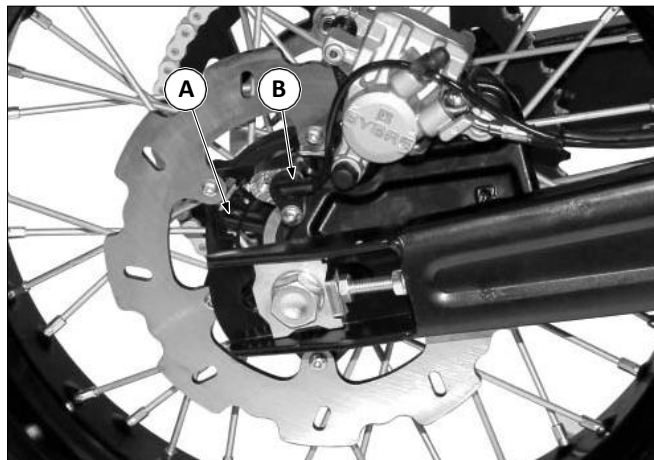
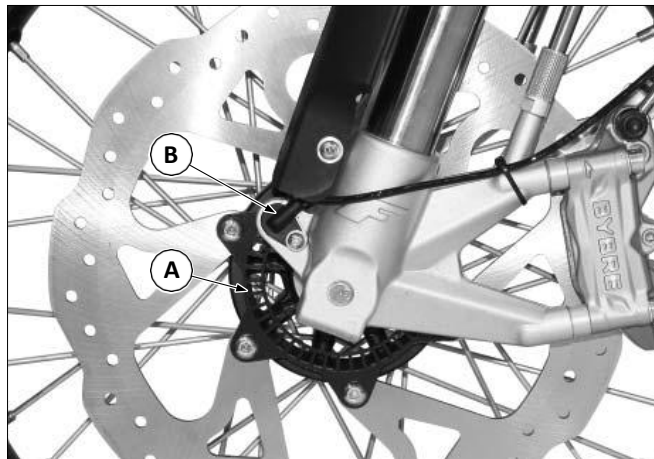
ABSシステムは、従来のブレーキシステムと比較してブレーキの安定性を高め、転倒のリスクを減らすことができます。

! 車両の実際のロードホールディング性能を超えないようにしてください。適切な速度で、常に天候と路面状況を考慮に入れて走行することはライダーの責務です。ABSはライダーの判断ミスおよび／または不適切な車両使用を補正することはできません。

i キーをON位置に回すと、ABS表示灯が点灯し、車両速度が5km/hを超えるまで点滅し、その後消灯します。

! バッテリーの故障時には、ABSシステムは停止します。

! ABSシステムはホイールからの情報を受信して、前後輪に介入します。常にホイールに汚れが付着していないことを確認し、センサーからの距離が一定であることを定期的を確認してください。確認や調整については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。



車両取り扱いの基本事項

ABSは、ABSボタンCを数秒間押して起動／停止することができます。

① ABSシステムを手動で停止すると、ABS警告灯は点灯し続けます。

⚠ ABSシステムの故障時は、表示灯が点灯し、車両は従来のブレーキシステムの特性を保持し続けます。スピードを控えめにし、Fantic Motor 正規販売店へお越しください。

⚠ 低速ではABSシステムは起動しません。低速でグリップが弱い条件下では、ブレーキ状況に特に注意を払ってください。



シートオープン

シートを開くには、ボルトA を回して取り外します。

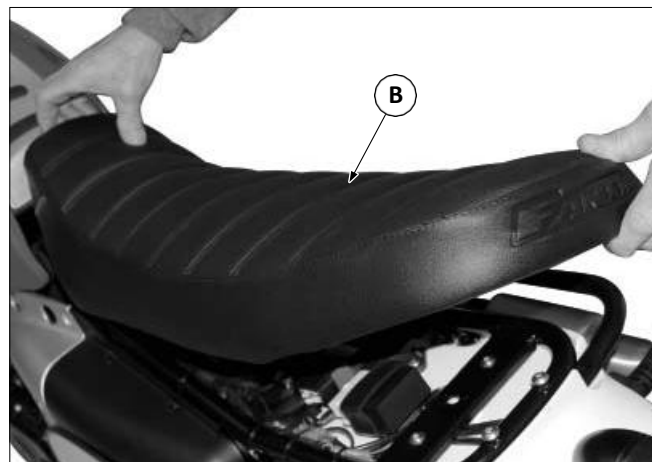


JP

シート B を持ち上げて取り外します。

 シートを再度取り付ける前に、シート下にキーなどを置き忘れているか確認してください。

 乗車前に、シートが正しく固定されていることを確認します。



車両取り扱いの基本事項

給油

給油する際は、カバー A を開けます。
キー B を挿入し、反時計方向に回します。
キャップ C を上げて給油します。

⚠ 給油時は、喫煙したり火気を使用しないでください。電

⚠ 気機器および火花や着火の原因となるものは使用を避けてください。これらのルールに従わなかった場合、火事や爆発の危険があり、器物や人に深刻な危害を与えるおそれがあります。

⚠ 給油時に燃料に添加剤やその他の物質を加えないでください。

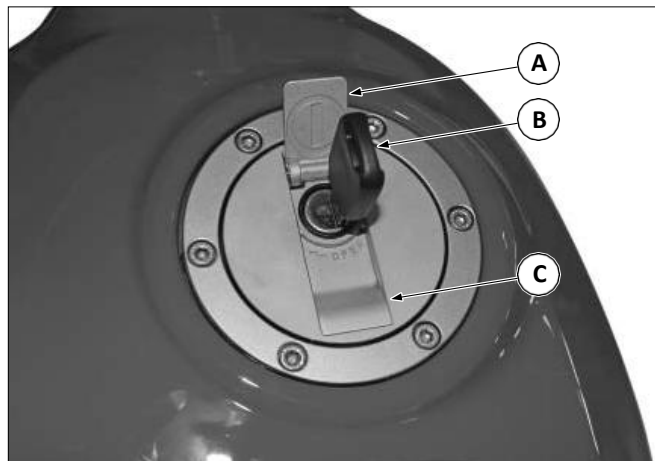
⚠ 燃料が漏れないように注意してください。漏斗を使用する際は、完全に清潔であることを確認してください。

⚠ 本マニュアルの技術仕様に記載されているタイプの燃料を使用してください。異なる油種を使用しないでください。燃料システムを損傷し、エンジンの作動に影響を与える場合があります。

給油後、キャップ C を閉じます。
キー B を時計方向に回してから抜きます。カバー A を閉じます。

① タンクキャップはキーを挿入した状態でのみ閉じることができます。

⚠ タンクキャップが閉じていることを確認してください。



車両の長期保管

車両を数カ月に渡って使用しない場合は、事前に準備を行うことを推奨します。

- 燃料タンクを完全に空の状態にし、エンジンをかけ自然に停止するまで待ちます。これによりキャブレタータンクの燃料が完全に空になったことを意味します。
- バッテリーを取り外し、2週間に1度、充電器で充電します。

 バッテリーは、5℃～35℃の乾燥した場所に保管する必要があります。バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。

- タイヤの空気圧を定期的にチェックします。前後輪のタイヤを地面から浮かせた状態で保管できるスタンドがあるとさらに好ましいです。
- チェーンを潤滑します。
- 湿気がエキゾースト内部に入らないよう、密閉できる袋などでサイレンサー部分を覆います。
- 車両全体を覆う事のできるバイクカバー(通気性素材)で車両を保護します。
- 車両は、温度変化が少なく、湿度が低く、日光のあたらない涼しい場所に保管すると長持ちします。

保管期間後

- カバーを外して洗車します。
- バッテリーの状態を点検します。
- 予備点検を実施します。

 交通量の少ないエリアで、スピードを控えめにして数kmのテスト走行を行います。

車両取り扱いの基本事項

洗車

定期的な洗車はパーツの状態を良好に保ちます。

以下のような条件で車両を使用する場合は、より高頻度で洗車することを推奨します。

- 湿度が高く、周辺の塩分が通常より高いエリア。
- 塩分や融雪剤が使用されている道路。
- 粉塵やタールの汚れが存在している道路やエリア。
- スポーツ用途またはオフロード走行。
- 昆虫の死骸や鳥の糞などが車体に付着している場合。

植物や樹木の下に車両を駐車しないことを推奨します。植物や樹木の樹液、樹脂、果実または葉の中には、車両パーツや塗装に悪影響を及ぼす成分が含まれている場合があります。

洗剤を洗い流す前に乾燥すると、塗装面にダメージを与える場合があります。特に夏場の直射日光の下や、車両温度が高い時には洗車しないでください。

プラスチック製パーツの洗浄には40℃以上の液体を使用しないでください。

エアジェット、スチーム、高圧の水は、下記部分には使用しないでください。

- ホイールハブ
- ハンドルバースイッチ
- ベアリング
- ブレーキオイルマスターシリンダーおよびタンク
- ツールとインジケーター
- エキゾーストシステムアウトレットホール
- ステアリングロック
- フューエルタンクキャップ等
- ヘッドライトとテールライト
- 電装パーツ
- デカール

 シート、ラバーおよびプラスチック部品のクリーニングには、アルコール、ガソリンまたは溶剤を含む製品を使用しないでください。不適切な製品を使用すると、車両パーツにダメージを与えるおそれがあります。

高圧水ジェットの使用は、車両の複数のパーツにダメージを与えるおそれがあります。

低圧の温水ジェットを使用し、車両の特に汚れた部分を十分にすすぎます。やわらかいスポンジを使用して車両の全パーツを洗います。

低圧のジェットを使用して車両全体をよくすすぎます。セーム皮でふきあげ、車両を乾燥させます。
洗車後はブレーキ効率が低下する場合がありますので、ディスクをよく乾燥させ、パッドが乾燥するまで待つことを推奨します。

車両が始動したら、注意してブレーキを繰り返し操作してください。

シリコンワックスによるつや出し作業は、しっかりと徹底的に洗車した後にのみ行ってください。

 車両に研磨ペストを使用しないでください。塗装部品にダメージを与えるおそれがあります。

 ブレーキシステムの部品には保護ワックスを使用しないでください。作動に悪影響を及ぼすおそれがあります。

 シートにワックスをかけないでください。シートが損傷したり滑りやすくなり、ライダーやパッセンジャーの安定性が低下し、事故や物や人への危害を与えるおそれがあります。

はじめに

特定のメンテナンスや修理作業については Fantic Motor 正規販売店にご相談ください。常に純正の交換部品を用いて素早く正確なサービスをお約束します。

最初の数時間の使用後は、予備点検を実施することをお勧めします。

 これらの手順に従わない場合、人や車に重大な傷害をもたらす可能性があります。故障や異常を発見した場合、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

予備点検

部品	説明
フロントおよびリアディスクブレーキ	レバーの動作を確認し、アイドルストローク、フリユードレベルおよびリーク有無を確認。必要に応じてブレーキフリユードを充填。
スロットルノブ	ノブの回転がスムーズで両方向で滑らかなこと、引っかかりが無いことを確認。
エンジン オイル	レベルを確認し必要に応じて充填。
ホイールとタイヤ	タイヤ表面の状態、空気圧、摩耗およびダメージの有無を確認。異物が付着していれば取り除く。
レバーとブレーキ	レバーの握りこみ時と解放時に、引っかかったり滑ったりせずに正しく作動するか確認。必要に応じてジョイントを潤滑。
クラッチレバー	レバーの握りこみ時と解放時に、引っかかったり滑ったりせずに正しく作動するか確認。必要に応じてジョイントを潤滑。
ハンドルバー	両側へ完全に自由かつ均一に回転することができ、隙間や緩みがないことを確認。

メンテナンス

部品	説明
サイドスタンド	回転やスライド具合を確認。スプリングのテンションがノーマルポジションに戻ることを確認。必要に応じてジョイントを潤滑。安全スイッチの正しい作動を確認。
ボルト類	緩んでいるボルトが無いか確認。必要に応じて調整および締め付け。
フューエルタンク	フューエルレベルを点検して必要に応じて給油。栓が全ての位置で良好に回転することを確認。フューエルキャップの密閉性と、回路にリークが無いことを確認。
エンジンストップボタン	正しく作動することを確認。
スタートスイッチ	正しく作動することを確認。
ホイール	汚れやダメージが無いことを確認。
音声および視覚装置	正しく作動することを確認。故障時は交換。

エンジン オイル

⚠ 走行距離 1,000 km 毎にエンジンオイルレベルを確認してください。

エンジンオイルレベルの確認

定期的にエンジンオイルレベルを確認します。

① エンジンオイルの確認は、エンジンの作動温度で行う必要があります。

⚠ エンジンオイルを確認する際は、車両をサイドスタンドで支えないでください。

両輪を地面に置いた状態で、車両を垂直に保ちます。
エンジンを始動し、アイドリング回転数で少なくとも2分間ウォームアップしてから停止します。オイルレベルをチェックする前に2分間待ちます。

オイルレベルプラグ/ディップスティックを外して清掃してから戻します。

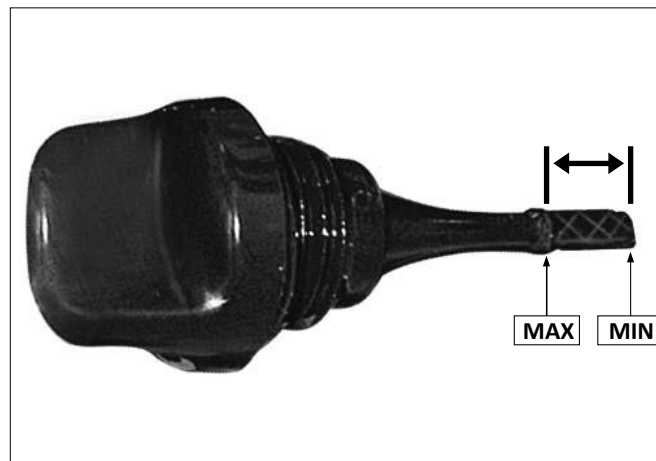
① オイルレベルを点検するときは、エンジンオイルフィルターキャップ(ディップスティック)をねじ込まないでください。



メンテナンス

オイルレベルプラグ/ディップスティックを取り外して確認します。適正なレベルは“MIN”と“MAX”の間です。

- ① エンジンにダメージを与えないためには、オイルレベルは MAX マークを超えたり、MINマークを下回ってはいけません。



エンジンオイルの充填

エンジンオイルレベルの確認後、レベルが正しい範囲でない場合は充填する必要があります。オイルレベルプラグ/ディップスティックを取り外して、充填してください。

- ① 漏斗等を使用する場合は清潔であることを確認してください。

⚠ 添加剤やその他の物質を加えないでください。「推奨製品」のセクションで紹介されている製品を使用してください。



エンジンオイルの交換

 フィルターやエンジンオイルの交換作業は複雑で、経験が必要です。フィルターやエンジンオイルを交換する必要がある場合、Fantic Motor 正規販売店へ連絡することをお勧めします。

エンジンオイル量

- 総量: 1.5 リットル
- オイルフィルターエレメントの交換無しの場合: 0.95 リットル
- オイルフィルターエレメントの交換ありの場合: 1 リットル

メンテナンス

タイヤ

タイヤ空気圧、メーカー、タイプ、サイズに関しては「テクニカルデータ」のセクションを参照してください。

 **タイヤ空気圧はタイヤ温度が高いと正しく計測できないため、室温下で確認してください。**

 **周辺温度と同じタイヤ温度とは、車両が3時間以上停止しているかまたは走行した距離が2km未満であることを意味します。**

長距離走行の前には燃費とタイヤ空気圧(室温下)を確認してください。

 **タイヤ空気圧が高すぎると、地面の凹凸に対して適切なクッション性が得られず、振動がハンドルバーに直接伝わり、車両のコントロール性が損なわれます。タイヤ空気圧が不十分な場合、タイヤの側壁部に負担がかかり、リムでタイヤが滑ったり外れたりする危険があります。その結果、車両のコントロールが失われる可能性があります。また急ブレーキをかけると、タイヤがリムから外れてしまう恐れがあり、スリップするリスクも高まります。**

 **エアゲージの個体差に起因する不正確な値を測定しないように、可能な限り常に同一のエアゲージを使用することを推奨します。**

SCRAMBLER



FLAT TRACK



 表面の状態と摩耗を確認してください。タイヤの状態が悪いとグリップと車両の操作性が損なわれます。タイヤが摩耗したりパンクした場合は交換してください。タイヤの修理や交換後はホイールバランスを調整してください。メーカー指定のサイズのタイヤのみを使用してください。指定外のタイヤの使用は車両の操作性や安定性を損ない、器物や人に障害を与え、重症あるいは死亡に至る事故を生じるおそれがあります。

 突然の空気圧低下を防ぐため、プレッシャーバルブには常に保護キャップが取り付けられ、しっかりと締まっている事を確認してください。

 新しいタイヤの場合、製造時の薬剤が表面に残り滑りやすい場合があります。最初の数キロは慎重に走行してください。不適切な液体でタイヤを潤滑しないでください。古いタイヤは、完全に摩耗していなくても柔軟性が失われている場合があり、タイヤ本来のグリップ性能が保証されませんので交換してください。

交換、修理、メンテナンスは非常に重要です。経験のある作業者が適切なツールを使用して行う必要があります。そのため、特定の作業時は、Fantic Motor 正規販売店か、タイヤ販売店にご依頼ください。

 提供されているタイヤはチューブレスタイヤで、インナーチューブと共にスポークリムに取り付けられています。インナーチューブの無いチューブレスタイヤは使用しないでください。

トレッド溝の深さ(Scrambler)

Scrambler バージョンの最大トレッド値:

- フロントタイヤ: 5.60 mm
- リアタイヤ: 7.60 mm

トレッド溝の深さ(Flat Track)

Flat Track バージョンの最大トレッド値:

- フロントタイヤ: 7.30 mm
- リアタイヤ: 7.30 mm

 トレッド溝の深さは1mm、または車両を使用する国の法律で定められた値を下回ってはいけません。

メンテナンス

スパークプラグ

 スパークプラグの点検、クリーニング、交換については、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

エアフィルター

 エアフィルターはクリーニング不要で、交換が必要です。

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「エアフィルター」の項目を参照してください。

 エアフィルターの分解、点検、クリーニング、交換については、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

クーラント

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「クーリングシステム」の項目を参照してください。

 クーラントレベルが最小値を下回っている場合は車両を使用しないでください。

 交換、点検、クーラントの補充については、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

ブレーキシステム

フロントブレーキフリードレベルの確認

フロントブレーキフリードレベルを確認する際は、車両をサイドスタンドで支え、ブレーキオイルリザーバー内のフリードがキャップに対して水平になるようにハンドルバーを回転します。フリードが MIN マークを超えていることを確認します。

- ⚠ フリードレベルが MIN マークに達していない場合、ブレーキディスクとパッドの摩耗を確認してください。ブレーキディスクとブレーキパッドを交換しない場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。



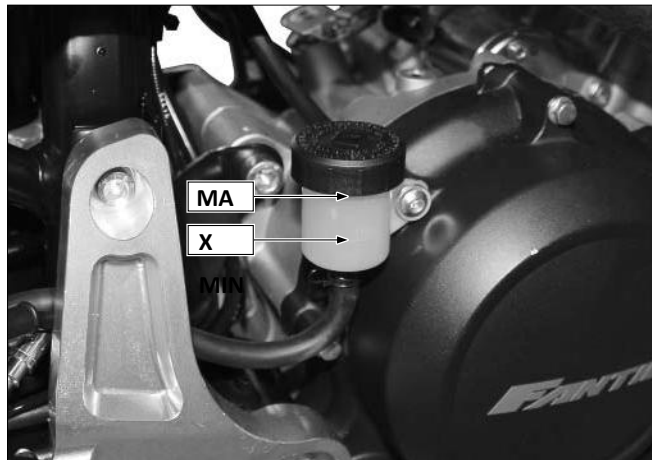
リアブレーキフリードレベルの確認

リアブレーキフリードレベルを確認する際は、車両を垂直に保ち、ブレーキオイルリザーバー内のフリードがキャップに対して水平になるようにします。フリードが MIN マークと MAX マークの間にあることを確認します。

- ⚠ フリードレベルが MIN マークに達していない場合、ブレーキディスクとパッドの摩耗を確認してください。ブレーキディスクとブレーキパッドを交換しない場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

ブレーキシステムへのフリード補充

- ⚠ ブレーキフリードの補充の際は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。



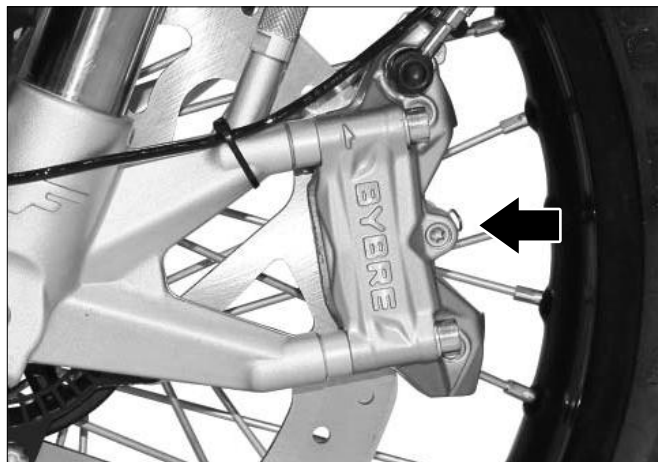
メンテナンス

パッドの摩耗点検

- ① 走行前や使用後に毎回パッドの摩耗状況を点検することを推奨します。

パッドの溝は常に目視で確認できる状態である必要があります。ディスクブレーキパッドの摩耗具合は使用状況や走行タイプ、道路タイプによって変化します。

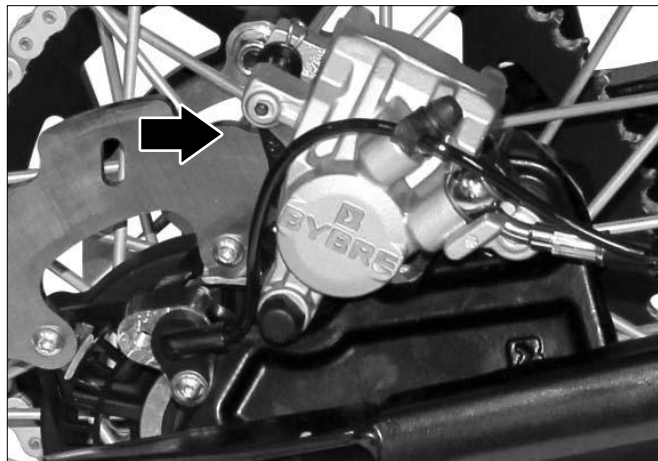
パッドの摩耗を確認する際には、車両をサイドスタンドで支えます。



フロントブレーキキャリパーの場合はキャリパーホイールピンの方向を下から上に、リアブレーキキャリパーの場合はリア上部から見て、ディスクとパッドの間の目視点検を行います。

⚠ 摩擦材料の限界を超えると、パッド金属シューとディスクとの接触を招き、その結果金属ノイズが発生し、キャリパーから火花が発生します。ブレーキ性能も低下し、ディスクに悪影響を与えるおそれがあります。

溝が消えた場合（摩擦材の高さ1.5 mm）、ブレーキパッドを交換してください。



サスペンション

フロントホイールサスペンション

⚠ フロントサスペンションオイルの交換時は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

メンテナンス作業については「メンテナンステーブル」セクションの「フォーク」の項目を参照してください。

点検

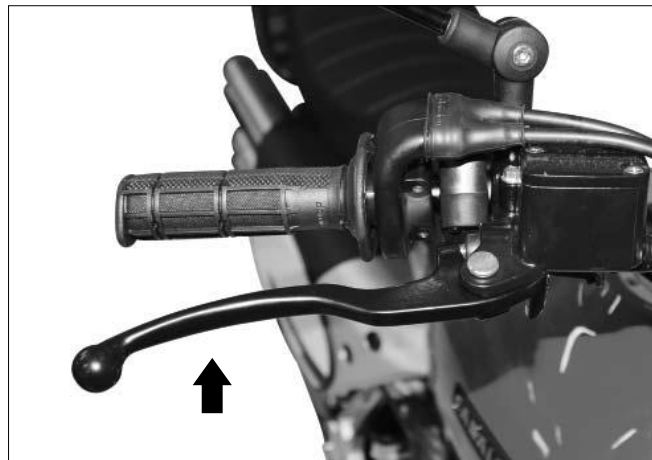
ハンドルバーでフロントブレーキレバーを繰り返し握り、フォークを圧縮します。ストロークはソフトで、ロッドにオイル漏れの痕跡が無いことを確認します。

全てのフロントサスペンションパーツの取り付けに緩みが無いことを確認します。

⚠ 故障が見つかった場合や専門技術者に相談する必要がある場合は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

調整

このタイプのサスペンションは調整が不要です。サスペンションの基本設定は Fantic Motor が実施済みです。



JP

メンテナンス

リアサスペンション

メンテナンス周期については「メンテナンステーブル」セクションの「リアショックアブソーバー」の項目を参照してください。リアホイールサスペンションは、ダンパーとリンケージユニットで構成されており、ショックアブソーバーヘッドの上部とスイングアームの下部（リンケージ）に接続されています。

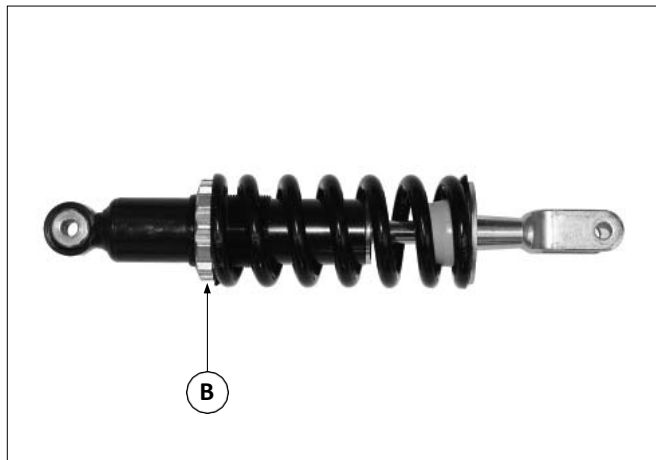
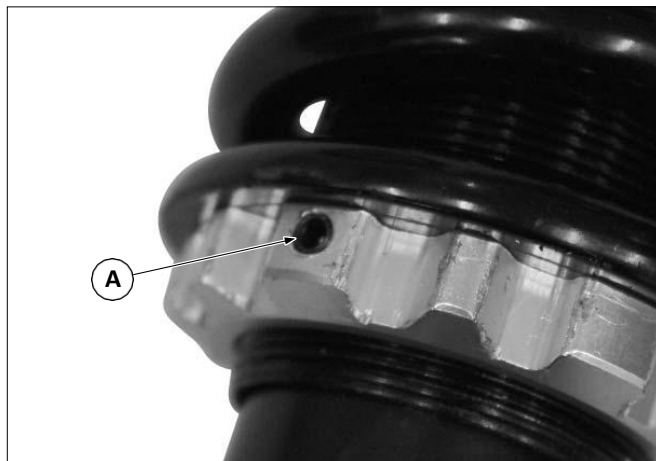
ショックアブソーバーのプリロード調整

さまざまな使用ニーズに合わせて、設定をカスタマイズすることが可能です。設定を変更する際は、エンジンが完全に冷えるまで待ちます。車両の使うコンディションに合わせてスプリングプリロードを調整します。

- リングナットの固定ボルト A を緩めます。
- フックレンチを使用してリングナット B を調整したい方向へ回します。
- リングナットの固定ボルト A を締め付けます。

 損傷を避けるため、リングナットは調整範囲を超えるような（両方向に）無理な力はかけないでください。

 サスペンションの基本設定は Fantic Motor 社が実施済みです。



クラッチレバーとギアボックス

エンジンが停止した時やクラッチレバーとギアが入った状態で車両が前進する傾向がある時、またはクラッチがスリップしてエンジン回転数に対して加速の遅れが発生する時は、クラッチの調整を行います。

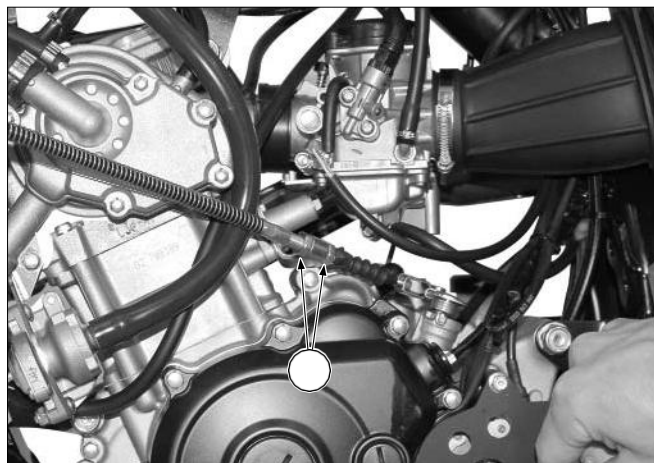
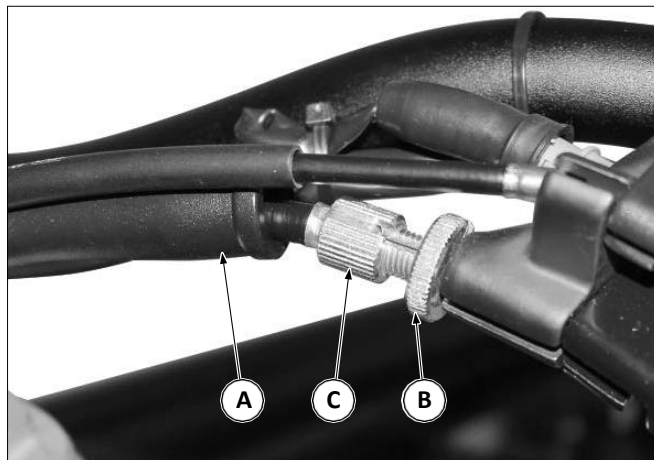
調整を行う際は、

- カバー A を取り外す。
- リングナット B を緩める。
- ハンドルバーをまっすぐにした状態で、クラッチレバーのアイドリングストロークが2 mmにならないように、アジャスター C を回します。
- アジャスター C を固定したまま、リングナット B を締め付けます。
- 保護カバー A を再度取り付けます。
- アジャスター C のストロークが必要なクリアランスを確保するのに不十分な場合は、エンジンクランクケースにあるクラッチレバーアジャスター D を操作してください。

 クラッチケーブルの状態を全長にわたって確認します。シースにヒビ、切り傷、つぶれ、磨耗などがいないか確認します。

問題があればFantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

 調整を行っても必要なクリアランスが確保できない場合はFantic Motor 正規販売店へご連絡ください。



D

JP

メンテナンス

チェーン

車両にはクリップジョイント式チェーンが採用されています。

チェーン、前後スプロケットの摩耗点検

チェーン、前後スプロケットを点検し、以下の症状が無いか確認します。

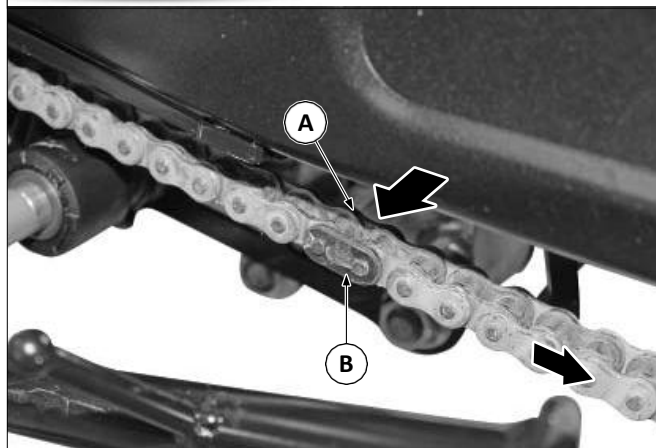
- ローラーの摩耗
- ピンの緩み
- ブッシュの乾燥、錆、つぶれ、固着等
- シールリングの紛失
- 前後スプロケットの歯の過度な摩耗やダメージ

⚠️ どれか一つのパーツに損傷があった場合、チェーンアッセンブリー全体(チェーン、前後スプロケット)を交換する必要があります。

① チェーンガイドおよびチェーンスライドシューの摩耗についても点検します。

⚠️ チェーンのジョイント部は、チェーンを新品と交換する場合にのみ分解してください。

⚠️ ジョイント部 A は常に車両の内側から外側に向かって取り付けられ、チェーンが外れないようにピンがフォーク B で完全にロックされていることを確認します。フォーク B の閉端はドライブチェーンの回転方向を向いている必要があります。



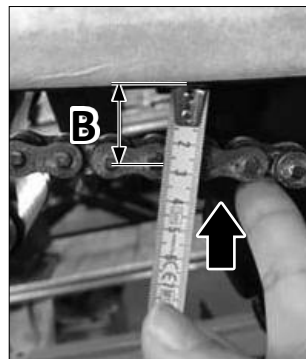
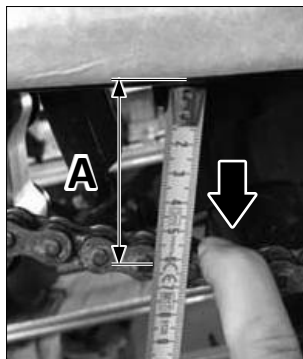
⚠ チェーンが緩みすぎるとスプロケットから外れ、事故や車両の重大な損傷を引き起こす可能性があります。定期的
にクリアランスを点検してください。チェーンの交換については、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

⚠ メンテナンスが不適切だと、チェーンの摩耗時期が早まったり、スプロケットを損傷することがあります。

JP

クリアランス点検

- エンジンを停止します。
- 車両をサイドスタンドで支えます。
- ギアをニュートラルに入れます。
- 前後スプロケの中間点の下側のチェーンを、最初は下側に、次に上側に押し、スイングアームとチェーンの距離を測定します。最高値 A と最低値 B の差が約25 mm (0.98 in) であることを確認してください。
- 車両を前進させてチェーンの垂直振動を別の箇所でも確認します。クリアランスは、ホイールを回転させた全ての箇所で一定である必要があります。



⚠ 特定の位置でよりクリアランスが大きい場合、ブッシュが潰れたり固着している箇所があることを意味します。この場合は、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。チェーンが固着するのを防ぐため、正しくチェーンを潤滑してください。

潤滑とクリーニング

チェーンは常によく潤滑しておく必要があります、特に泥や砂地のオフロード走行後はクリーニングの必要があります。乾いたり錆びた部分がある場合や、潰れたり固着したブッシュがある場合は、チェーンを潤滑し、損傷した部品を良品と交換することを推奨します。それができない場合は、Fantic Motor 正規販売店にご連絡ください。

⚠ 水のジェット、蒸気、高圧ジェット、および可燃性の高い溶剤でチェーンを洗淨しないでください。

① チェーンに推奨される潤滑剤および洗淨剤については、「推奨製品」の項を参照してください。

メンテナンス

バッテリー

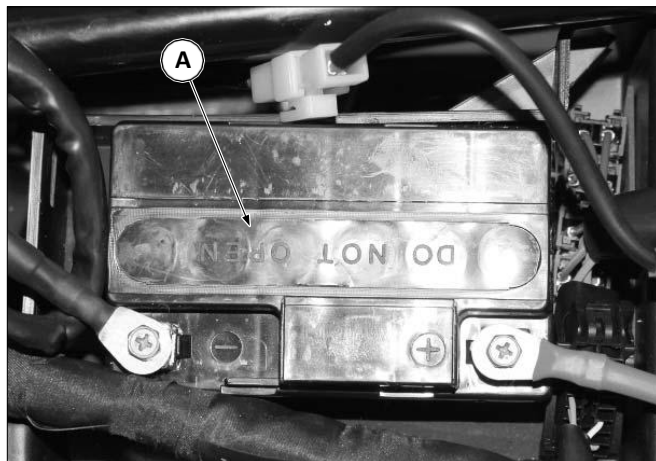
バッテリー A はシートの下にあります。このバッテリーはメンテナンス不要です。電解液レベルの点検や補充を行う必要はありません。

- ① バッテリー端子は清潔に保ち、必要に応じてグリースで軽く潤滑してください。

バッテリーの取り外し

シートを取り外し、バッテリーのマイナス端子の接続を外してからプラス端子の接続を外します。

バッテリーを取り外します。



バッテリーを取り付ける際は、図のようにプラス端子を差し込み、次にマイナス端子を接続してください。

⚠ 何らかの理由により電解液(硫酸)がバッテリーから漏れている場合は、最大限の注意を払ってください。

⚠ 火花や裸火をバッテリーに近づけないでください。

⚠ 消耗したバッテリーは子供の手の届かない場所に保管し、定期的に廃棄するようにしてください。

⚠ プロテクションは外さず、バッテリーは極性を正しく守って取り付けてください。

⚠ バッテリークランプはワセリンで保護してください。

ヒューズとリレー

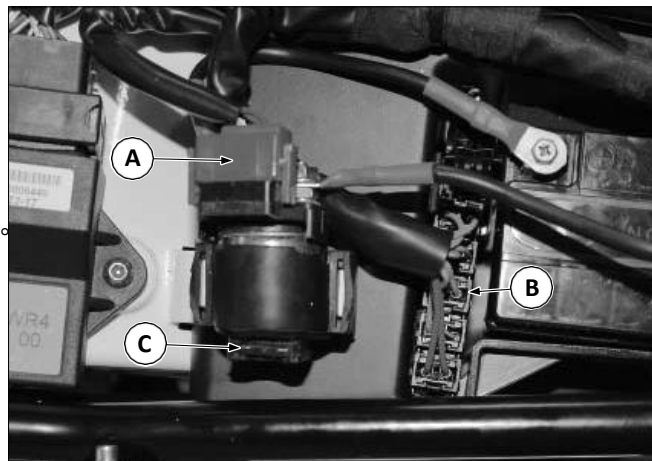
ヒューズの確認時は短絡をふせぐため、イグニッションスイッチをOFFにします。

シートとヒューズボックスカバーを取り外します。

1回につき1つのヒューズを取り外し、フィラメントが破損していないか確認します。

ダメージがあればヒューズを同アンペアのものと交換します。

 **ヒューズは修理しないでください。また、定格と異なる出力のヒューズを使用しないでください。短絡して火災発生の原因となるおそれがあります。**



ヒューズ配置

A. メインヒューズ (30A)

B. ヒューズボックス

- ・ エンジンコントロールユニットヒューズ、ABSコントロールユニットおよびOBDソケット (5A)
- ・ クーリングファンヒューズ (5A)
- ・ ヘッドライトヒューズ (5A)
- ・ ポジション/ストップライトヒューズ、ホーンおよびウィンカー (5A)
- ・ ABS コントロールユニットヒューズ (オイルポンプ油圧部) (30A)

C. スペアヒューズ (30A)

メンテナンス

ライトとウィンカー

 ヘッドライト、テールライト、ライセンスプレートライトの分解、点検および／または交換の際は、Fantic Motor 正規販売店へご連絡ください。

ヘッドライトの調整

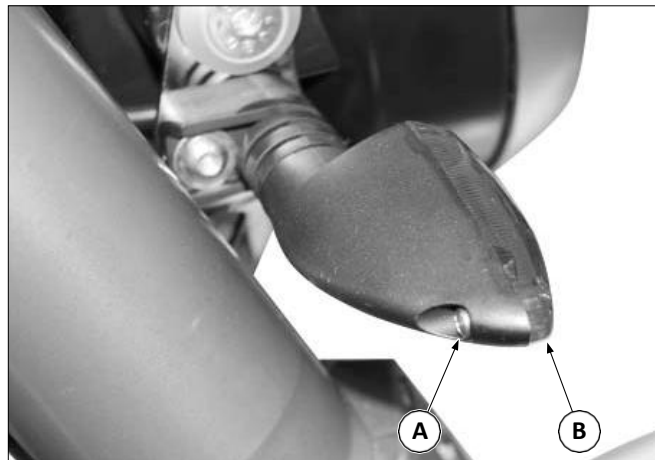
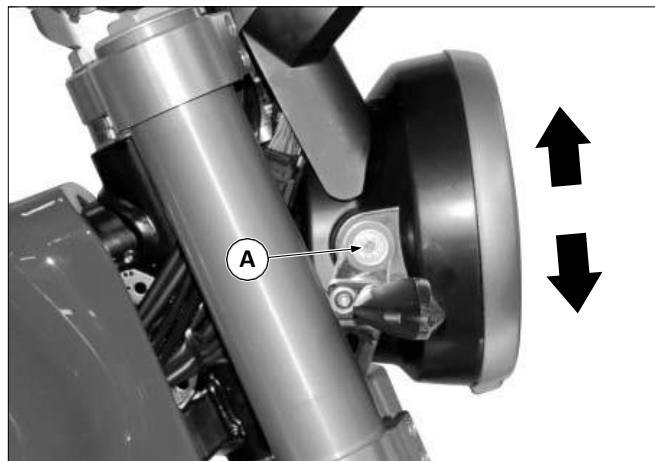
フロントライトの照射方向が適切か確認するには、垂直壁から10メートル離れた水平な場所に車両を駐車します。乗車した状態でロービームのスイッチを入れ、壁に照射されているビームがプロジェクターの水平ラインより僅かに下（全高の9/10程度）に位置していることを確認します。ライトの縦位置の調整を行うには、車両を走行ポジションで固定し、両側のボルトA を緩め、手動で希望の位置に調整します。ボルト A を締め付け、再度ライト照射の正しい方向を確認します。

ウィンカー

フロントおよび／またはリアのウィンカーのランプを交換するには、車両をサイドスタンドで支えます。ボルト A を緩めてカバー B を外します。バルブをやさしく押して反時計方向に回してランプを外します。同タイプの新しいランプを取り付けます。

 内側のリフレクターがシートから外れている場合は、正しい位置に戻します。

 ランプが正しく取り付けられていることを確認します。



リアビューミラー

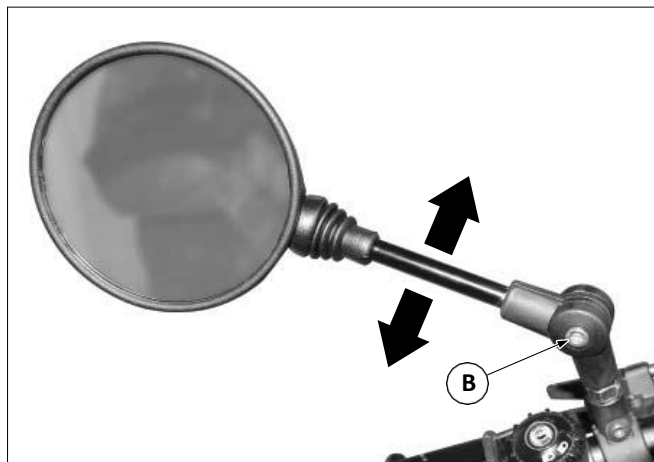
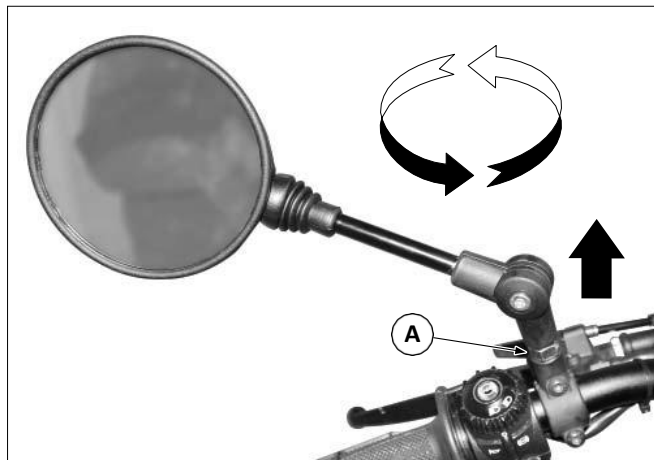
- ① 以下に記載されている説明は、両方のリアビューミラーに適用されます。

水平で安定した平面上で、車両をサイドスタンドで支えます。ロックナット A を緩め、左側のミラーは反時計方向、右側のミラーは時計方向に回転させて取り外します。

- ① 組み立て時、ナットの締め付け前にミラーのサポートロッドがハンドルバーと合っていることを確認します。

リアビューミラーの調整

リアビューミラーを調整するには、走行位置で乗車し、必要に応じてリアビューミラーを回します。リアビューミラーサポートロッドの傾きを調整することもできます。その際は、ボルト B を緩めて、サポートロッドを斜めに動かします。調整したら、ボルト B を締め付けます。



メンテナンス

キャブレター

メンテナンス周期については「メンテナンステーブル」セクションの「アイドル回転数」の項目を参照してください。

エンジンアイドル回転数

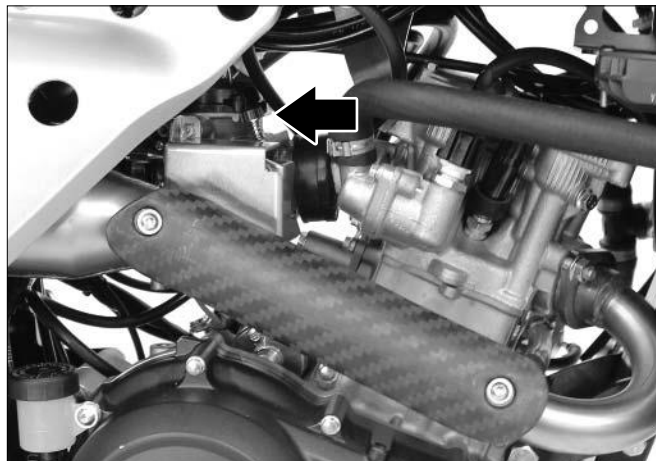
アイドル回転数の確認時は、エンジンが作動温度である必要があります。

冷間時に確認した場合、キャリブレーションが不正確になります。

そのため、数km走行してエンジンが通常の作動温度になってから停車し、確認を行ってください。

⚠ エンジンの構成部品は熱くなっていますので、火傷に十分注意してください。車両の左から作業を行います。

エンジンの最低回転数は、およそ 1900 ± 200 rpm です。アクセルを操作せずにエンジンをオンにし続けるのが困難な場合は、キャブレターのアジャスターボルトを使用してアイドル回転数を調整する必要があります。

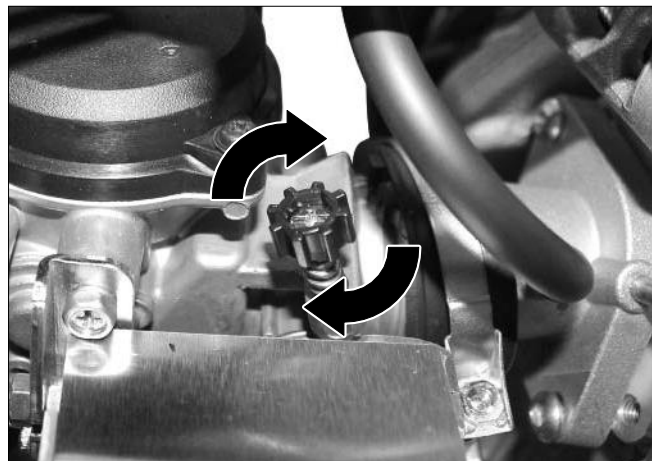


エンジンアイドリング回転数の調整

キャブレターのアジャスターボルト A (右側) を操作します。

- 回転数を上げるには、時計方向に締め付けます。
 - 回転数を下げるには、反時計方向に回して緩めます。
- スロットルノブを使用して数回加速および減速して動作とアイドリング回転数が安定しているかを確認します。

 キャリブレーション設定が変更されるのを防ぐため、エアアジャスターボルトでは操作しないでください。必要があればFantic Motor 正規販売店にご連絡ください。



JP

メンテナンステーブル

メンテナンス作業には専用ツールや技術的な準備を必要とする作業もありますが、通常は熟練したユーザーであれば実施することができます。

-  必要な専用ツール、適切な衣服、保護具、および安全に作業する場所が無い場合、メンテナンス作業の実施は推奨されません。技術的なアドバイスや整備作業が必要な場合は、Fantic Motor 正規販売店へお問い合わせください。
-  Fantic Motorは、ユーザーが行ったメンテナンス作業により発生した車両、所有物、および/または人への損害に対する民事および刑事責任を一切負いません。
-  ユーザー自身で所定の定期点検作業を実施するつもりが無い場合は、Fantic Motor 正規販売店にご依頼いただくことを推奨します。
-  雨天時や、埃っぽい地域、悪路での走行、あるいは高速走行に車両を使用する場合は、より頻繁にメンテナンスを行ってください。
-  走行距離 1,000 km 毎にエンジンオイルレベルを点検してください。
-  走行距離が1,000kmに達していなくても、車両の使用開始後、最初の1年が終わるまでに、必ず初回点検と整備を実施してください。
-  指定期日に達していなくても、車両の使用の2年目の終わりまでに点検と整備を行うことが不可欠です。
-  保証を適用するには、所定の点検とサービスを適時に実施する必要があります(1年目の初回点検と2年目点検)。
-  事前に所定の点検走行距離に達していない限り、定期的に年次検査を実行してください。

メンテナンス テーブル

項目	作業	1,000 km (600 mi)	3,000 km (1,750 mi)	6,000 km (3,500 mi)	9,000 km (5,250 mi)	12,000 km (7,000 mi)
燃料経路	－フューエルパイプにひび割れやダメージが無いか確認。			√		√
スパークプラグ	－状態を確認する。 －リーニングして電極距離を復元。			√		
	－交換する。					√
バルブ	－バルブクリアランスを確認。 調整する。			√		√
キャブレター	－アイドリング回転数(エンジン回転数)を調整。 －クリーニングを実施。	√		√		√
補助フューエル フィルター	－確認する。	√				
	－交換する。				√	
エアフィルター	－クリーニングを実施。			√		
	－交換する。					√
バッテリー	－バッテリーレベルとバッテリーフリード濃度を 確認。			√		√
クラッチ	－作動状態を確認。 －調整する。	√		√		√
フロントブレーキ	－作動状態、フリードレベル、リーク箇所の 有無を確認。	√		√		√
	－ブレーキパッドを交換。	摩耗限界を超えた場合。				
リアブレーキ	－作動状態、フリードレベル、リーク箇所の 有無を確認。	√		√		√
	－ブレーキパッドを交換。	摩耗限界を超えた場合。				

メンテナンス テーブル

JP

項目	作業	1,000 km (600 mi)	3,000 km (1,750 mi)	6,000 km (3,500 mi)	9,000 km (5,250 mi)	12,000 km (7,000 mi)
ブレーキチューブ	－ヒビ割れやダメージが無いか確認。 －取り付けと締め付けが適切か確認。			√		√
	－交換する。	4年毎				
ブレーキフルード	－交換する。	2年毎				
ホイール	－アライメントのずれやダメージがないか確認。			√		√
タイヤ	－スレッド溝の深さとダメージを確認。 －必要に応じて交換。 －空気圧の確認。 －必要に応じて修正。			√		√
ホイールベアリング	－ベアリングに緩みやダメージが無いか確認。			√		√
スイングアーム	－作動状態とクリアランスを確認。			√		√
	－リチウム石けん基グリースで潤滑。	24,000 km 毎				
トランスミッション チェーン	－テンション、アライメント、およびドライブチェーンの状態を確認。 －クラウンおよびピニオンを確認。 －全体の調整を行いドライブチェーンを指定の潤滑剤で潤滑。	1,000 km 毎 洗車後、雨天時や濡れた路面状態で モーターサイクルを使用した後				
ハンドルバーベアリング	－ベアリングクリアランスとハンドルバーの硬さを確認。	√		√		√
	－リチウム石けん基グリースで潤滑。	24,000 km 毎				
フレーム部品の 固定ボルト類	－全てのナット、ボルト、ネジが適切に締められていることを確認する。			√		√
ブレーキレバー 回転ピン	－シリコングリースで潤滑。			√		√

メンテナンス テーブル

項目	作業	1,000 km (600 mi)	3,000 km (1,750 mi)	6,000 km (3,500 mi)	9,000 km (5,250 mi)	12,000 km (7,000 mi)
ブレーキペダル回転ピン	－リチウム石けん基グリースで潤滑。			√		√
クラッチレバー回転ピン	－リチウム石けん基グリースで潤滑。			√		√
サイドスタンド	－作動状態を確認。 －リチウム石けん基グリースで潤滑。			√		√
サイドスタンドスイッチ	－作動状態を確認。	√		√		√
フォーク	－作動状態を確認し、オイルリークの有無を確認。			√		√
リアショックアブソーバー	－作動状態を確認し、ショックアブソーバー内のオイルリークの有無を確認。			√		√
リアサスペンションの 回転ポイント	－スイングアームの作動状態を確認。			√		√
	－ジャンクションアームの作動状態を確認。					√
エンジン オイル	－オイルレベルを確認し、車両にオイルリ ークが無いことを確認。	1,000 km 毎				
	－交換する。	√	√	√	√	√
エンジンオイルフィルター	－交換する。	√	√	√	√	√
クーリングシステム	－クーラントレベルを確認し、車両にリーク 箇所が無いことを確認。			√		√
	－クーラントを交換。	3年毎				
フロントブレーキおよび リアブレーキスイッチ	－作動状態を確認。	√		√		√
可動部品とケーブル	－潤滑する。			√		√

項目	作業	1,000 km (600 mi)	3,000 km (1,750 mi)	6,000 km (3,500 mi)	9,000 km (5,250 mi)	12,000 km (7,000 mi)
スロットル コントロールノブ	- 作動状態を確認。 - スロットルノブグリップのクリアランスを確認し、必要に応じて調整する。 - ケーブルとノブ本体を潤滑			√		√
灯火類、ウィンカー、 スイッチ類	- 作動状態を確認。 - ヘッドライトビームを調整する。	√		√		√

メンテナンス テーブル

推奨製品

- ① 潤滑剤およびフリード製品は、規定されている仕様と同等以上の品質のものを使用してください。
補充、充填する際も同様です。

製品	特性	備考
4ストロークエンジンオイル	SAE 10W30,10W40,15W40, 20W40, 20W50, API service type SG or greater, JASO standard MA	鉱物油を使用しないこと
ストロークエンジンオイル	API SG JASO T903:2006 MA SAE 10W40	
2ストロークミキサー用合成オイル	セパレートミキサー用2ストロークオイル	合成オイルのみを使用すること。 ミネラルオイルを使用しないこと。
ベアリング、ジョイント、ピボット、レバー用グリース	リチウムグリース	
クーラント	有機添加物を含むエチレングリコールベース の不凍液	水で希釈しないこと。
フォークオイル	フォークオイル等級15W	
トランスミッションチェーン潤滑剤	トランスミッションチェーン用スプレーグリース	
ブレーキオイル	ブレーキフリードDot 4または 5.1	
電気コネクター用クリーナー	コネクター用クリーナー	

製品	特性	備考
燃料	95 または 98 無鉛ハイオクガソリン	ガソリンタイプ E5 E10
ハウジングおよびエンジンカバー カップリング用ペースト	Three Bond N. 1215®	
ネジ緩み止めミディアム	ミディアムスレッドロッカー	
ネジ緩み止めストロング	ストロングスレッドロッカー	
ボルト外し用潤滑剤	緩み止めロック剤を除去	
締め付けトルク用潤滑剤	一般的なエンジンオイル	
ラバーオイルシールおよび OR部品用潤滑剤	リチウム石けん基グリース	
バッテリー端子	ホワイセリンググリース	
洗車	常温の定圧水と環境に配慮した 自然素材の液体石けん	高刺激の洗剤は避ける。
ブレーキシステム(ブレーキディスクお よびシート)の外部クリーニング	スプレーディスクブレーキクリーナー	ブレーキパッドおよびプラ スチック部品のクリーン グには使用しないこと。

テクニカル データ	
全長 (Scrambler)	2166 mm (85.27 in)
全長 (Flat Track)	2180 mm (85.82 in)
全幅	820 mm (32.28 in)
全高 (Scrambler)	1135 mm (44.68 in)
全高 (Flat Track)	1154 mm (45.43 in)
ホイール ベース	1423 mm (56.02 in)
車両重量	135 kg (297.62 lb)
最大積載重量(車両、ライダー、積荷)	330 kg (727.52 lb)
エンジンタイプ	4ストローク単気筒
シリンダー数	1
総排気量	125 cc (7.62 cu in)
ボア×ストローク	52 mm×58.6 mm
圧縮比	11.2:1
スタートタイプ	電気
エンジンアイドル回転数	1900 ± 200 rpm (rpm)
クラッチ	オイルバスマルチディスク ハンドルバーの左側で制御
潤滑システム	オイルバス式ケーシング。トロコイドポンプ制御による圧力システム。
冷却タイプ	水冷
クーラント	1.5 リットル
ギアボックスタイプ	6速 エンジン左側のペダルコントロール

テクニカルデータ

テクニカル データ	
変速比 (Scrambler)	プライマリートランスミッション: $73/24 = 3.042$ 1速ギア比: $34/12 = 2.833$ 2速ギア比: $30/16 = 1.875$ 3速ギア比: $30/22 = 1.364$ 4速ギア比: $24/21 = 1.143$ 5速ギア比: $22/23 = 0.957$ 6速ギア比: $21/25 = 0.840$ セカンダリトランスミッション: $58/14$
変速比 (Flat Track)	プライマリートランスミッション: $73/24 = 3.042$ 1速ギア比: $34/12 = 2.833$ 2速ギア比: $30/16 = 1.875$ 3速ギア比: $30/22 = 1.364$ 4速ギア比: $24/21 = 1.143$ 5速ギア比: $22/23 = 0.957$ 6速ギア比: $21/25 = 0.840$ セカンダリトランスミッション: $61/14$
トランスミッションチェーン	428 Regina モデル 126 RSH
エアフィルター	ペーパー
タンク容量 (予備量を含む)	11.5 l (2.52 UK gal, 3.03 US gal)
予備容量のみ	3.5 l (0.76 UK gal, 0.92 US gal)
エンジン オイル	容量 (分解時) 1.5リットル、オイルフィルター交換無し 0.95 リットル、オイルフィルター交換あり 1 リットル
シート	2
最大許容積載量 (ライダー、パッセンジャー、積荷)	195 kg
燃料システム	Keihin Carburettor ø30

テクニカル データ	
燃料グレード	95-98 ハイオク無鉛
フレーム	鍛造アルミエレメントを使用したモリブデンクロム鋼製の 密閉型ダブルクレードルフレーム
スイングアーム	可変セクション付きスイングアーム
ステアリングアングル(延長サスペンション付き)	24°
ステアリングアングル(両側)	39° ± 1°
フロントサスペンション	倒立フォーク ø41 ストローク 150 mm
リアサスペンション	コンプレッション調整可能で段階式リンケージの モノショックアブソーバー、ストローク 56 ± 2 mm
フロントブレーキ	4ピストンキャリパー、28 mm、φ 320 mm ディスク
リアブレーキ	シングルピストンフローティングキャリパー 32 mm、φ 230 mm ディスク
リム/タイヤ (Scrambler)	アルミスポークリム、 インナーチューブ付きチューブレスタイヤ： フロント 2.50 x 19" / リア 3.50 x 17". フロント/リア 空気圧： 2.0 bar (200 kPa ± 10) (29.01 PSI) から 2.1 bar (210 kPa ± 10) (30.45 PSI)
リム/タイヤ (Flat Track)	アルミスポークリム、 インナーチューブ付きチューブレスタイヤ： フロント 2.50 x 19" / リア 3.00 x 19". フロント/リア 空気圧： 2.1 bar (210 kPa ± 10) (30.45 PSI) から 2.3 bar (230 kPa ± 10) (33.35 PSI)

テクニカル データ

テクニカル データ	
ABS システム	2つの独立した切断可能チャンネル上のABSシステム
スパークプラグ	NGK-CR8E 電極距離 0.8 ± 0.01
バッテリー	12 V – 3.2 Ah
フューズ	メインフューズ 30 A セカンダリフューズ 5 A (5), 30 A
ジェネレーター	12 V – 235 W
ウinker	12 V – 6 W
ハイ/ロービーム	LED
ポジション/ブレーキライト	LED
ライセンス プレート ライト	LED
ABS 警告灯	LED
燃料残量表示灯	LED
ウinker表示灯	LED
ニュートラル表示灯	LED
オイルプレッシャー警告灯	LED
エンジン警告灯	LED
ハイビームライト表示灯	LED



CABALLERO

www.caballerofantic.com

FANTIC

FANTIC MOTOR S.R.L.

Via Tarantelli, 7 – 31030 Dosson di Casier (TV) Italy – www.fanticmotor.it – info@fanticmotor.it